２０１６年度
公益社団法人 五所川原青年会議所

基 本 資 料

JCI™

２０１６年度 通常総会

２０１６年２月２９日(月)　午後７時

ホテルサンルート五所川原

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

JCI Mission

To provide development opportunities that empower young people to create positive change

JCI Vision

To be the leading global network of young active citizens

『ＪＣ宣言』

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱　　領

われわれＪＡＹＣＥＥは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

『東北ＪＣ宣言』

われわれは
新たな価値を創造する旗手として
尊い「結」の精神を呼び覚まし
かつてない未来を切り拓くことを誓う

公益社団法人　五所川原青年会議所
２月通常総会　次第

日時　平成２８年２月２９日(月)　１９：００
場所　ホテルサンルート五所川原　二階　萬葉の間

１．開会セレモニー
《２月通常総会》
２．開会宣言
３．国家斉唱
４．「ＪＣソング」斉唱
５．「ＪＣＩクリード」唱和
６．「ＪＣＩ ＭＩＳＳＩＯＮ」並びに「ＪＣＩ Ｖｉｓｉｏｎ」唱和
７．ＪＣ宣言文朗読並びに綱領唱和
８．東北ＪＣ宣言文唱和
９．理事長挨拶
１０．議長就任
１１．定足数の確認
１２．議事録作成人並びに署名人の選出
１３．監査報告
１４．議案
　第１号議案 ２０１５年度事業報告（案）承認の件
　第２号事案 ２０１５年度収支決算（案）承認の件
　第３号事案 ２０１５年度特定資産まつり事業準備資金繰り入れ（案）承認の件
　第４号議案 ２０１５年度特定資産事業実施積立金繰入れ（案）承認の件
　第５号議案 ２０１６年度定款変更（案）承認の件
　第６号議案 ２０１６年度事業準備金取り崩し（案）承認の件
　第７号議案 ２０１６年度財産目録（案）承認の件
　第８号議案 ２０１６年度会員資格規程（案）承認の件
　第９号議案 ２０１６年度基本的財産等管理規程（案）承認の件
　第１０号議案 ２０１６年度理事及び監事報酬規程（案）承認の件
１５．監事講評
１６．閉会宣言
１７．公開臨時理事会
１８．閉会セレモニー

基　本　資　料

目　　次

１．２０１６年度理事長所信……　２

２．２０１６年度基本計画……　５

３．青年会議所（ＪＣ）とは……　６

４．２０１６年度理事及び監事……１０

５．２０１６年度組織図……１１

６．２０１６年度出向者一覧……１２

７．２０１６年度委員会事業方針・事業計画……１３

８．２０１６年度年間スケジュール表……２６

９．２０１６年度収支予算書……２７

１０．２０１５年度をかえりみて……３４

１１．２０１５年度収支決算書……５５

１２．２０１５年度庶務報告……６９

１３．事務局備品目録……７０

１２．２０１５年度行事一覧……７１

１３．新入会員のために……７６

公益社団法人　五所川原青年会議所

２０１６年度　理事長　今　　一　憲

２０１６年度 ＬＯＭ スローガン

sUPPORT

～積極的に 明日へ向かって～

公益社団法人 五所川原青年会議所　２０１６年度 理事長所信

公益社団法人　五所川原青年会議所
理事長　今　　一　憲

【はじめに】

広い津軽平野と岩木川そして岩木山。燃え尽きるかの如く過ぎ去る短い夏。そして厳しく寒い冬。それら全てをとっても、私はこの地域が本当によい地域だと感じます。都会と違う、心地良い「故郷」。その愛おしい「故郷」も、人口減少・少子高齢化・経済の低迷等、一昔前まで感じる事が出来た活気が、希薄化している印象を見受ける事が多くなりました。

２０～４０年前に生まれ、この地で育った青年５０名程が、今日の五所川原青年会議所のメンバーとして、日々地域の為に活動しております。我々が幼かった頃は、商店街は賑わい、学校にはたくさん生徒がおり、近所付合い等のコミュニケーションも活発で、人々も活気に溢れておりました。

１０年後、２０年後、このまま時計の針が進んだとき、愛する「故郷」はどのようになるのか。我々は、岐路に立たされているのです。

【より信頼ある地域団体】

五所川原青年会議所が、国の制度改革による公益法人格へ移行してから早３年。徐々に新制度へ順応している一方で、法の解釈等の理解が難しく、まだまだ翻弄されながら会を運営しているといった課題があるのも実状です。我々の運動をしっかりと展開していく為にも、まずは組織の運営基盤を、しっかり固めていく必要がございます。

まず、財務・事務を中心とした執行部が、公正で、明瞭かつ効率的な組織運営を、確立しそれを確実に遂行していけるよう率先し、当会全体を導いていかなければなりません。また、総務委員会が中心となり、基本的な担いである各種総会の開催、定例会の円滑な運営、広く・きめ細やかな情報発信を実施していかなければなりません。

地域の皆様からの信頼をより堅実なものとし、我々の運動が最善を尽くせる環境をしっかりと整備して参ります。

【故郷の宝】

次代を担う子供達は、地域にとって大きな可能性を秘めた、言わば「宝物」であります。しかし、大人への階段を歩んでいる彼らは、精神的・肉体的にも発展途上の段階であり、今後の長い道のりにおいて、様々な修練が待ち受けていることでしょう。地域の明るい未来の実現を目指す団体である我々も、それを決して見過ごす訳にはいきません。

今年は、青少年達へこの地域の魅力を直接体感して頂き、「成人しても、この地に安住したい」という精神を育んで頂きます。また、日々の学校生活では決して学ぶ事が出来ない、ＪＣならではの貴重な体験を通じて、人としても大人への大きな第一歩を踏み出して頂ける機会を設けます。

「故郷」を愛し大きく成長した「宝物」が、この地を照らし大きな輝きを放ちながら、地域を牽引してくれる事と確信致します。

【先人からの贈り物】

田植えが落ち着いた６月に毎年開催している「奥津軽虫と火まつり」。今年で４４回を数えるこのまつりも地域の大事な伝統行事の一つであります。近年は、若者や参加団体の減少等、様々な問題を抱え、時にその運行形態を変えつつも、市民の皆様には地域の幸せを願う神事のお祭りとして認知を頂き、観衆も徐々にではありますが、年々増えております。

今年も、この「奥津軽虫と火まつり」を開催し、古くから継続されてきたまつりの燈火を未来へしっかり引き継いで参ります。また、このまつりを通じて、地域の皆様へまつりの意義を伝承し共感を得て頂き、今まで観衆だった方々が「このまつりに出たい。」という気持ちを育み、そして、その方々が実際に参画頂ける環境を整備して参ります。

この「奥津軽虫と火まつり」を地域の皆様と作り上げ、その意義の伝承が成されていく事で、まつり本来の願いである地域の「弥栄」へ向け努めて参ります。

【市民協働】

我々が日々運動するに当たって、実際そこに住み暮らす者の行動や発言ほど、周囲の人への深い共感、幅広い波及効果を得ることが容易なものは他なりません。また、その行動は一個人、一団体、一行政と各々が展開するより、三者が同じベクトルに向け、真剣に突き進める事で、時として爆発的な運動に発展する可能性を秘めております。

２０１２年から五所川原市と共同で開催している市民討議会は、世代を超えた市民の生の声を、直接市政へ届ける事ができる大事な場であります。また、討議会開催を基に始動した、市民とＪＣにて構成する地域団体「らぶ・ごしょがわら実行委員会」も今年で４年目を向かえます。

今年も「市民討議会」の開催、「らぶ・ごしょがわら運動」の推進を図り、市民と協働するまちづくり運動を展開し、五所川原発展に寄与して参ります。

【気概ある青年団体】

我々が運動を展開する際、会員数が３０より５０、５０より１００人と、運動の大きさと会員数は深い関係にあります。そうした中、当会においても、いわゆる団塊ジュニア世代の卒業が近年顕著な傾向を辿り、会員拡大は急務であります。また、会員数が増えたとしても、会員相互の協調性や、個々の資質が疎かでは、拡大以前の問題であります。

その為にもまず今年、会員拡大に関しましては、全会員が一丸となって全力で取組んで参ります。また、新入会員を含めた会員相互の絆を深める各種交流事業の開催はもちろん、青年としての英知の向上を図ることができる機会を設け、当会全体の活性化と会員個々の資質向上に努めて参ります。

限られた時期に活動する青年会議所で、巡り合わせた一生涯の仲間と共に、地域を背負って立つという気概を持ち切磋琢磨、精進して参ります。

【おもてなしの精神】

今年、青森ブロック協議会主催の青森ブロック大会が、当会主管で開催されます。年１回、県内８会員会議所の会員が集結し、交流や新たな気づきを得ることができる重要な大会であり、我々としましても五所川原で開催されることは大変名誉な事であり、また五所川原の魅力を存分に発信できる絶好の機会でもございます。

当会としましても、会員一同「おもてなしの精神」で、各地会員会議所の皆様をお迎えし、大会成功の一助となるよう努めて参ります。２０１２年度、主管させて頂きました「東北青年フォーラムｉｎ奥津軽五所川原」の経験を生かし、会員個々はもちろん、会全体の更なるスキルアップを図って参ります。我々が一丸となって誠心誠意おもてなしをすることにより、県内各地の会員の皆様が「五所川原大会に来て良かった。」と感じて頂けるよう、全力で取り組んで参ります。

【結びに】

私は青年会議所に入会してから、様々な事業に携わる中で、関係諸団体の皆様、行政、市民そして先輩諸兄、仲間である会員とあらゆる方々から、本当にたくさんの御指導・御協力を頂いて参りました。その皆様の熱い「ｓｕｐｐｏｒｔ」があったからこそ、私自身活動してくることが出来ましたし、今日の私があるのも皆様のお蔭でもございます。

今年、『ｓＵＰｐｏｒｔ』というスローガンを掲げた理由も、そうした観点からであります。「ｓｕｐｐｏｒｔ」される側、する側。立場は違ってもこの行動自体、人道的に非常に美しく温かいものです。何事を為すにも、一人では限界があります。手を取り合い、時にぶつかり合いながら取り組んでいく事で、素晴らしい成果が伴うものと確信しております。

今年も、我々ＪＣが積極的に全力で『ｓＵＰｐｏｒｔ』し、１０年、２０年、１００年先も、夢で溢れた「故郷」であり続けるよう、未来へしっかり襷をつなげて参ります。

基　本　計　画

【 基 本 理 念 】

襷をつなげ！地域と共に

夢溢れる「故郷」の未来に向かって

【 基 本 方 針 】

１、信頼ある組織づくり・運営の確立

２、「郷土愛」育む青少年育成事業の開催

３、地域と共に勇壮な「奥津軽虫と火まつり」開催

４、市民協働のまちづくり運動の推進

５、全会員による拡大と会員個々の資質向上

６、第４６回青森ブロック大会の主管

【 LOM スローガン 】

SUPPORT

～積極的に 明日へ向かって～

青年会議所（ＪＣ）とは

◇理念と目的

青年は理想に燃え、未来への期待を常に強く持っています。希望に満ちた明るい豊かな社会、正義が行われる理想の社会の実現を心から熱望するために、青年は次代の担い手として大きな責任を自覚し、新しい世界のための推進力にならなければならないと考えます。

青年のこの夢を実現するため、同じ理想と使命感を持つ若い世代の人々を広く共通の広場に集め、友情を深めつつ、強く影響し合い、刺激しあって、“若さ”がもつ未来への無限の可能性を自分たちの手で効果的に描き出し、“明るい社会”を目指して、青年の情熱から生まれる果敢な行動を結集すべく、組織された団体が青年会議所（ＪＣ－Junior Chamber）です。

「われわれＪＡＹＣＥＥ（青年会議所会員）は、社会的、国家的、国際的な責任を自覚し、志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう」との綱領は青年会議所の決意、行動理念と目標を明確に表現しています。

◇特　質

青年会議所を他のすべての団体から区別する最大の特質は、会員の“年齢制限制”にあります。会員はいかなる人種、国籍、性別、職業、宗教であってもかまいませんが、年齢満２０歳から４０歳までであることを要し、“品格ある青年”でなければなりません。したがっていかに長時間にわたり、有能で活動的な会員であっても、満４０歳に達したら退会しなければなりません。この素晴らしい年齢制限のゆえに、青年会議所は絶対に若さを失わず、常に希望に溢れ、未来に向かった前進を続ける団体として活動することができるのです。

青年会議所は世襲経営者のサロンクラブではありませんし、単に社会奉仕を行う団体でもありません。青年会議所は未来を目指し、よりよき明日をめざしてわれわれの住む地域社会・国家・全世界のために、われわれが今日の犠牲を払うことを厭わず、常に進歩への挑戦を行う、理想と具体的総合的な施策をもった青年指導者の運動です。

◇組　織

会員は自分が住んでいる都市にある青年会議所に所属しています。われわれが会員であることは市民としての自発的な自由な意志によるのです。それゆえこの運動の単位は、あくまで各地青年会議所の日常の活動にあります。

１９４９年９月、東京に始まった日本の青年会議所運動は、６０年の歳月を経て、戦後日本の民間運動の白眉といわれるほどの拡大発展をとげました。現在、日本の隅々にわたり、７０４都市で活動を続け、会員約４万名を擁する、青年運動最大の団体となりました。全国７０４の青年会議所はそれぞれ集まって、４７ブロック協議会を構成し、さらにそれが日本を１０地区に分ける地区協議会に集められ、それらを総合調整する機関として日本青年会議所があります。日本青年会議所は国際青年会議所（ＪＣＩ－JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL）に加盟し、国際的なＪＣ運動の一翼をになって活動していますが、世界中では約１７万人の会員が同じ理念のもとに国際的な同志感をもって運動を続けています。

◇事業目標“社会と人間の開発”

創立以来の“個人の修練、社会への奉仕、世界との友情”の青年会議所の三信条は、われわれの運動６０年の展開の中で、年を追って具体化され、青年会議所運動とは要するに、“指導力開発と社会開発”であるとの事業スローガンに固まってきました。われわれ会員は市民社会の一員として市民と共通の生活基盤に立ったものの考え方見方を出発点とし、市民の共感を求め、住みよい明るい豊かなまちづくりに向かって努力するとともに、青年会議所の日常活動の場を通じ、われわれ個々人をよりよく開発することが青年会議所運動にほかならないと考えます。

青年会議所の“指導力開発”とは民主的な集団指導力あるいは集団運営能力の研究と実践であるといわれます。まず会員個人がすぐれた市民、職業人であるために自ら厳しく訓練し、さらに市民社会の中にあって、市民を目標に向かって一致協力するように働きかけながら市民とともに進む、その全過程が青年会議所のいう指導力開発です。

指導力開発を推進するもっとも有効な手段として、青年会議所は“社会開発計画”事業を中心とする運動をもっています。一市民でもある会員が住むまちの明るい豊かな明日のために、それぞれまちの問題を市民の中から掘りおこし、市民とともにその解決をはかるという方法です。

青年会議所運動は自由な自発的な意志より加入した会員の起こす運動であるからには、われわれのまちの運動、市民運動の中心でなければなりませんし、市民にその意志を認められなければなりません。

青年会議所の目標は明るい豊かな社会の創造であり、その新しい社会をリードするにふさわしい人を数多くつくることです。青年会議所とその運動は決して完成されたものではなく、社会の進歩とともに、さらに発展していくと思われます。

青年会議所は時代とともに新しい呼吸を続け、次々と新しい青年がこの団体を背負っていきます。

青年会議所は常に英知と勇気と情熱を持った青年を求め、その門戸を大きく開いています。

２，０００字解説文より

国 際 青 年 会 議 所

Jaycee International,　Inc.（ＪＣＩ）

ＪＣＩは青年の世界でも最も強固で大きな団体です。「すべての国、民族、宗教を含めた青年の集まり」それがＪＣＩのモットーです。

１９７７年１月末日現在の構成は、１００ＮＯＭ（National Organization Members）、約８，６００ＬＯＭ（Local Organization Members）があり、全会員数は約３２万名です。

①個人の能力の開発
②青年の協力による社会開発（精神面、福祉面）
③より深い世界的相互理解の推進

これらの主目的に沿ったプログラムを調査－研究－計画－実行－評価の活動過程を通じて有益な指導力を取得し、また人間的向上を図る機会を活動の主体である青年が追求すると同時に世界に対して種々の働きかけて行うことがＪＣＩの目的です。

ＪＣＩ（Junior Chamber International）運動の始まりは８５年前の１９１５年にアメリカの一都市セントルイスに住む青年達が「青年も、事業あるいは市民生活の諸問題に関与すべきである。」との主旨のもとにUnited States Junior Chamber of commerceを設立しました。その後、清廉な言動が一都市から全米へ、更に世界各国に発生を促すことになり、続々青年団体が設立されました。

そして、１９４６年第一回国際青年会議所の会議がパナマで開かれ、国際的活動が開始されました。ＪＣＩは７５カ国（ＮＯＭ）、１２，０００チャプター（ＬＯＭ）のＪＣが加入しており、会員数（Ｊａｙｃｅｅ）は約３２０，０００人に達し、同一目標をめざしております。日本は１９５１年、第６回会議で初めてＪＣＩへの承認を受けてから、現在においてはアメリカに次いでＪａｙｃｅｅの最も多い国へと拡大しました。ＪＣＩは結成以来、毎年１回加入国のいずれかでＪＣＩの最高議決機関である世界会議が開催されており、日本に於いても１９５７年第１２回会議が東京で、１９６６年には京都で第２１回、１９８０年には大阪で第３５回、１９８６年には名古屋で第４１回、２０００年には札幌で第５５回世界会議がそれぞれ開催されました。皇太子殿下の御臨席を始め、各国の著名士が多数参加のもとに、世界各国からの代表団を日本に迎え、ＪＣＩ世界会議の歴史の輝かしい多大な成果を残しました。また、ＪＣＩは世界会議の他に６地域に分けて、各地域ごとに毎年一回地域会議を開催しており、１９５２年東京で第２回アジア地域会議（１９６２年よりＪＣＩの定款改正でＪＣＩコンファレンスと改称）が開かれました。日本はＪＣＩ加入以来、毎年世界会議に多数の代表を送り、ＪＣＩ発展に寄与している。ＪＣＩ内部においても高く評価されており、日本から初めて、１９７０年度ＪＣＩ会頭に前田博君が、また、１９８１年度には長尾源一君が選ばれました。同じ目的を達成するため世界各国のＪＣの結束がＪＣ運動を世界的規模でとらえ、ＪＣ運動の発展を図ろうとするものであります。

日本青年会議所（日本ＪＣ）

第二次世界大戦後、日本の社会は精神的にも物質的にも極度に荒廃した状態であった。現状を一日も早く収拾し、新しい秩序を打ち立てなければならないという声が次第に高まって来ました。この時、経済界に活躍している青年達の間に一つのグループを作ろうという機運が生じました。そのグループの目的は、青年がお互いに切磋琢磨し、今後の日本の各界における指導者としての基盤を確立し、青年らしい情熱を燃やして“より良い社会”を着々と実現してゆこうというものでありました。

このような趣旨のもとに集まった青年の手によって東京青年会議所（その後商工会議所法の制定により、青年会議所と改称）が１９４９年９月３日に設立された。これが日本における青年会議所運動の先駆であります。

このような理想主義的な運動は日本各地の指導的青年層に深い共感を与え、大阪、名古屋、前橋、広島、岡山等に続々と青年会議所が誕生しました。これらＪＣ相互の連絡のため「全国青年会議所懇談会」が１９５０年に開催され、次いで翌１９５１年２月９日に７都市のＪＣを会員とし、全国的な統合体として社団法人日本青年会議所が設立され、通産大臣より認可されました。さらに１９５１年カナダのモントリオールで開催された国際青年会議所第６回世界会議で日本ＪＣのＪＣＩ加入が認承されました。

日本ＪＣ設立以来、現在まで４０余年、その間日本ＪＣは急速な拡大をみました。１９９８年現在、７５３余のローカル青年会議所（Local Organization Member略してＬＯＭ）その個人会員数は、６万余名に達しました。

日本ＪＣの組織及び機能

日本青年会議所の機能は各地ローカルＪＣ（ＬＯＭ）の活動が円滑活発に行われやすくするため、ＬＯＭへの連絡調整の機能をつとめるとともに対外的にはＪＣＩの構成メンバー、すなわち国家ＪＣ（National Organization Member略してＮＯＭ）としての機能を果たしております。

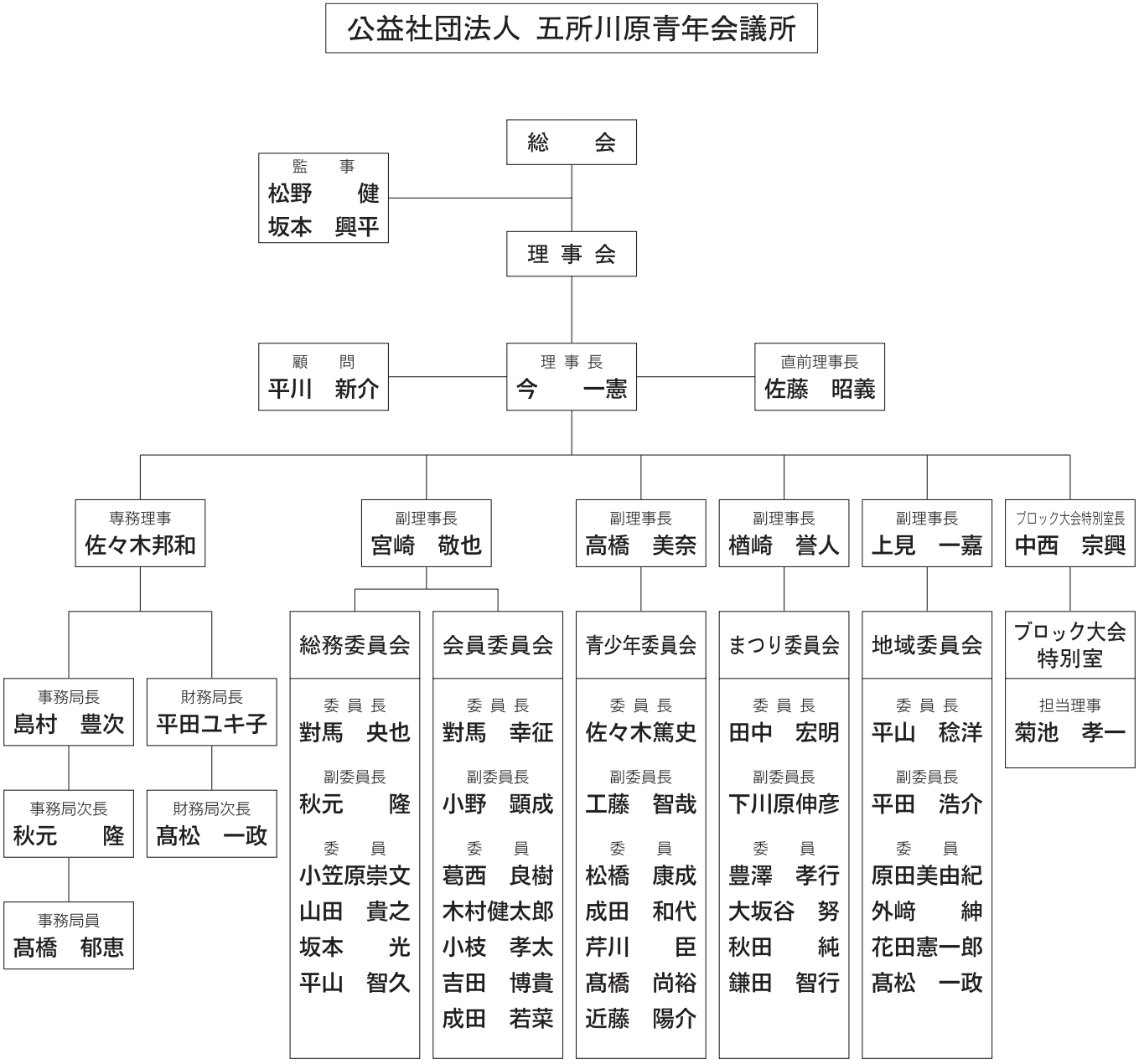
日本ＪＣの組織は１９６７年９月の組織改正によって大幅に変更され、縦にはＪＣＩの一員でＮＯＭとしてＪＣＩの地域担当の副会頭（ＶＰＯ）の統括下にあります。

国内組織において、各会員会議所は各地区担当常任理事の統括下にありますが直接には各ブロック協議会会長（評議員）につながっており、ＬＯＭとして日本ＪＣの構成員であります。日本ＪＣには最高の意思決定機関として総会（日本ＪＣ定款２０～２９条）がありますが、その下に評議員会、理事会があって日本ＪＣの執行機関の機能を果たしています。

公益社団法人 五所川原青年会議所　２０１６年度 理事及び監事

理事長	今　一憲
直前理事長	佐藤昭義
顧問	平川新介
専務理事	佐々木邦和
副理事長	宮崎敬也
副理事長	高橋美奈
副理事長	楢崎誉人
副理事長	上見一嘉
ブロック大会特別室長	中西宗興
総務委員長	對馬央也
会員委員長	對馬幸征
青少年委員長	佐々木篤史
まつり委員長	田中宏明
地域委員長	平山稔洋
ブロック大会特別室担当理事	菊池孝一
事務局長	島村豊次
財務局長	平田ユキ子
監事	松野健
監事	坂本興平

公益社団法人 五所川原青年会議所　2016年度 組織図



２０１６年度 出向者一覧

〈日本青年会議所〉

■民度向上委員会	委員	佐藤昭義

〈東北地区協議会〉

■会務担当副会長		平川新介
■事務局次長（会務セク）		下川原伸彦
■東北ゼミナール委員会	委員	高橋美奈

〈青森ブロック協議会〉

■主権者意識向上委員会	副会長	佐藤昭義
	副委員長	小笠原崇文
	委員	近藤陽介
■地域再興委員会	副会長	佐藤昭義
	委員	秋田純
■ラブふるさと推進委員会	委員長	中西宗興
	運営幹事	山田貴之
	委員	葛西良樹
■次世代ＬＯＭ支援委員会	委員	松橋康成
■総務委員会	委員	平田浩介
■アカデミー大学	塾生	大坂谷努
	塾生	髙橋尚裕
	塾生	外﨑紳
	塾生	吉田博貴
	塾生	坂本光
	塾生	小笠原崇文
	塾生	豊澤孝行
	塾生	工藤智哉
	塾生	小野顕成
	塾生	近藤陽介
	塾生	成田若菜

委員会事業方針・事業計画

総務委員会

担当副理事長　宮　崎　敬　也

基本方針

我々が住み暮らすこの「故郷」は、時に厳しくも豊かな風土の中で人々が支え合い、営みを重ね続けて今日の繁栄を築きあげました。しかしながら、日々刻々と「故郷」の状況は変化しており、「故郷」の未来はどのような姿となるのか今岐路に立たされています。この愛すべき「故郷」と共に時を過ごし育まれてきた我々は、責任ある青年世代として、次代へと襷を繋げるべく青年会議所運動を展開し、夢溢れる「故郷」の未来を実現していかなければなりません。

その為に、総務委員会は執行部との連携を図りながら公益法人制度改革に則る信任ある組織運営を確立すると共に、基本的な担いである総会と各種定例会を円滑に執り行うことで、夢溢れる「故郷」の未来の実現に向けた積極的な運動展開を支えて参ります。また、対外へ向けた当会の情報公開はもとより、運動展開も広く発信していくことで地域への認知と浸透を図り、青年会議所運動の最善を尽くせる環境を培って参ります。

総務委員会が、信任ある組織運営の確立を図りながら当会の積極的な運動展開を支えると共に、青年会議所運動の最善を尽くせる環境を培うことにより、次代へと襷を繋げ夢溢れる「故郷」の未来を実現できると確信し、一年間邁進して参ります。

委員長　對　馬　央　也

基本方針

五所川原青年会議所は、愛すべき「故郷」の繁栄を築く為に「まちづくり・ひとづくり運動」を展開して参りました。今日まで先人が築き上げたこの愛すべき「故郷」に育まれてきた我々は、今まさに「故郷」を取り巻く人口減少・少子高齢化・経済の低迷等の諸問題に対し、責任ある青年世代として、次代へと襷を繋げるべく当会の積極的な運動を展開し、夢溢れる「故郷」の未来を実現していく必要があると考えます。

今年度、総務委員会では、執行部との連携を図りながら公益法人制度改革に則る当会の信頼ある組織づくりを確立すると共に、基本的な担いである新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙の開催、各委員会・特別室が担当する定例会の設営を行います。また、会員名簿・基本資料を作成し対外へ向けた情報公開、さらには、地域の皆様に広く認知して頂く為にホームページを活用した情報発信を行うことで、当会の積極的な運動を展開できる環境を整えて参ります。

総務委員会が、信頼ある組織づくり、総会の開催・定例会の設営、地域への情報発信を担い、当会の運動を「ＳＵＰＰＯＲＴ」することにより、次代へと襷を繋げ夢溢れる「故郷」の未来を実現できると確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※総会・例会の運営

◎ 新年祝賀会（１月）　他１

当会の２０１６年度の活動内容並びに方向性を関係諸団体にお伝えし、認知と浸透を図ることを目的とした事業

・通信運搬費　　１５，０００円　　・印刷製本費　　１０，０００円
・委　託　費　　１３０，０００円

予算　１５５，０００円

◎ 通常総会（２月）（管理費に計上）

当会の２０１５年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会

・通信運搬費　　１０，０００円　　・消 耗 品 費　　５，０００円
・印刷製本費　　５，０００円　　・賃　借　料　　４５，０００円

予算　６５，０００円

◎ 定例会（７月）　他１

選考委員会委員選挙

当会の２０１６年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会

・通信運搬費　　５，０００円　　・消 耗 品 費　　５，０００円
・印刷製本費　　５，０００円　　・賃　借　料　　５，０００円
・委　託　費　　５，０００円

予算　２５，０００円

◎ 通常総会（９月）（管理費に計上）

当会の２０１７年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会

・通信運搬費　　１０，０００円　　・消 耗 品 費　　５，０００円
・印刷製本費　　５，０００円　　・賃　借　料　　１５，０００円

予算　３５，０００円

◎ 定例会（１２月）　他１

当会の２０１７年度の基本方針（案）及び、収支予算について報告を行い、２０１７年度へと引き継ぐことを目的とした定例会

・通信運搬費　　５，０００円　　・消 耗 品 費　　５，０００円
・印刷製本費　　１５，０００円　　・賃　借　料　　３５，０００円
・委　託　費　　５，０００円

予算　６５，０００円

※その他の事業

◎ 褒賞の企画　　他１

２０１６年度の青年会議所活動に貢献・功労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業（ＬＯＭ内褒賞）

・雑　　費　　３０，０００円

予算　３０，０００円

◎ 基本資料の作成（管理費に計上）

・委　託　費　　２５０，０００円

予算　２５０，０００円

◎ 会員名簿の作成（対外配布分）（管理費に計上）

・通信運搬費　　１，０００円　　・消 耗 品 費　　１，０００円

・委　託　費　　７０，０００円

予算　７２，０００円

◎ ＷＥＢサイトの企画・運営　　他３

・委　託　費　　６０，０００円

予算　６０，０００円

◎ 定例会の設営

事業費合計　７５７，０００円

会員委員会

担当副理事長　宮　崎　敬　也

基本方針

青年会議所運動を展開する時、その運動が伝播する力は会員数と個々の持つ資質、そして会員相互の協調性により明白な差が生まれます。近年の当会は団塊ジュニア世代の卒業が顕著に表れている状況であり、継続的な会員拡大が求められています。我々の住み暮らす「故郷」が、これから何年先も夢で溢れた「故郷」であり続けられるよう次代へ襷を繋ぐためにも、青年会議所運動の根幹である会員拡大と人材育成を図りつつ、会員相互の絆を深めなければなりません。

その為に会員委員会は、本会との緊密な連携を図りながら会員拡大の意義を会全体で共有し、会員拡大を推し進めて参ります。更には、会員個々の資質向上を図る機会を設け、青年としての英知を高めると共に地域を背負って立つ気概と情熱を宿します。また、新入会員や当会の先輩方も含めた各種交流事業を実施していくことにより、巡り合わせた仲間達と切磋琢磨しつつ活発に青年会議所運動を展開できるように働きかけます。

会員拡大の意義を会全体で共有し、拡大を推し進めながら会員個々の資質向上を図ると共に、各種交流事業を通じて相互の絆を高めていくことにより、青年会議所運動が力強く展開され、夢で溢れた地域であり続けられるよう次代へ襷を繋ぎます。

委員長　對　馬　幸　征

基本方針

我々の住み暮らすこの愛すべき「故郷」の「明るい豊かな社会」の実現の為に、青年会議所運動を展開する際、運動の大きさと会員数は深い関係にあります。そうした中、五所川原青年会議所は団塊ジュニア世代の卒業が近年顕著な傾向を辿り、会員拡大は急務であります。また、会員の増加に努めるのみではなく、個々の資質を磨き品格ある人材育成を図りながら、会員相互の協調性を高めて夢で溢れた「故郷」であり続けるよう、未来を担う人たちへ襷を繋げなければなりません。

まずは、日本青年会議所の会員拡大プログラムを通じて拡大の意義や目的を会員拡大に反映できるよう会員委員会が学びます。そして、会員全体に共有し西北五地域の２０歳から４０歳までの青年を対象に異業種交流会を開催し拡大を進めます。また、青年としての英知の向上を図る機会を設けて会員個々の資質向上に努め、気概ある青年団体を目指します。更に、新入会員や当会の先輩方を交えて親睦を深めて頂く会員交流会を開催し、当会全体の活性化に繋がるように努めて参ります。

「会員拡大」、「資質向上」、「会員交流」の各種会員拡大事業を通じて、巡り合せた一生涯の仲間と意義を共有し青年会議所運動を展開することで、地域を背負って立つという気概を高め、夢に溢れた地域を目指し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（未定）　**他２**

「会員の資質向上に繋がる事業」（仮称）

会員の資質向上に繋がることを目的とする定例会。

・通信運搬費	６，０００円	・消 耗 品 費	１５，０００円
・印刷製本費	１５０，０００円	・賃　借　料	７，０００円
・諸　謝　金	３０，０００円	・雑　　費	５，０００円

予算　７８，０００円

※その他の事業

◎ 異業種交流会（未定）　**他１**

会員拡大（西北五地域の２０～４０歳以下対象）に繋げることを目的とする事業。

・通信運搬費	５，０００円	・消 耗 品 費	５，０００円
・印刷製本費	１０，０００円	・雑　　費	５，０００円

予算　２５，０００円

◎ ＯＢ交流会（未定）　**他１**

ＯＢの方と現役メンバーの交流を深めることを目的とする事業。

・通信運搬費	３，０００円	・消 耗 品 費	１０，０００円
・印刷製本費	３，０００円	・委　託　費	１０，０００円
・雑　　費	５，０００円		

予算　３１，０００円

◎ 家族交流会（未定）　**他１**

会員家族同士が交流・親睦を深めることを目的とする事業。

・通信運搬費	３，０００円	・消 耗 品 費	２０，０００円
・印刷製本費	３，０００円	・賃　借　料	１０，０００円
・保　険　料	５，０００円	・委　託　費	５，０００円
・雑　　費	１５，０００円		

予算　６１，０００円

◎ 新入会員セミナー（未定）　**他１**

入会３年以内の会員を対象に青年会議所の活動内容や組織を理解していただくことを目的とする事業。

・通信運搬費	３，０００円	・消 耗 品 費	３，０００円
・印刷製本費	３，０００円	・賃　借　料	５，０００円
・委　託　費	５，０００円	・雑　　費	５，０００円

予算　２４，０００円

◎ 会員拡大事業（通年）　**他２**

新入会員の増進を目的とする事業。

・通信運搬費　１０，０００円

予算　１０，０００円

事業費合計　２２９，０００円

青少年委員会

担当副理事長　高　橋　美　奈

基本方針

我々の幼少期は、祖父母の世代や近所との交流で地域の伝統や歴史、人と人との絆やコミュニケーション能力を自然に身につける事が出来ましたが、現代の子供達を取巻く環境は、核家族化やＩＴの普及により、それを当り前に学べる機会が減少しています。明るい豊かな未来を担うのは、この地域に住み暮らす無限の可能性を持つ子供達です。教育機関だけに頼るのではなく、我々地域の大人が責任を持ち、「故郷」を愛する心や、地域の未来を牽引出来る子供達を育成していかなければなりません。

今年度、青少年委員会では、子供達がこの地域に住み暮らす人と触れ合い、地域の伝統や文化を学び、魅力ある「故郷」を愛する心を育んで参ります。そして、今の子供達が、まちづくりの当事者となり、この地域を牽引する時に、生まれ育った「故郷」の未来を本気で考え、自らが社会に参画出来るよう、知識を習得し、体験する機会を設けます。さらに、関係諸団体との連携を密にし、心身ともにたくましく、活力ある青少年を育成して参ります。

次代を担う子供達が、地域の人と人との繋がりを体感し、まちを知る事で、「故郷」を愛する心が芽生え、未来は自らの手で創造するという想いを抱き、まちづくりへの当事者意識を持った、次代を牽引する担い手と成長するものと信じ、一年間邁進して参ります。

委員長　佐々木　篤　史

基本方針

地域にとって「宝物」である子供達。この子供達を取り巻く環境は年々良くなっているとは決して言えず、人と人との繋がりや歴史・伝統、地域への興味も希薄となり「故郷」を愛する心も失われつつあります。「故郷」を愛する心を育てる為には教育機関や家庭のみならず、我々地域の大人も責任を持ち、その愛する心を芽生えさせ、また、愛すべき「故郷」の為に、未来のこの地域を牽引できる「青少年」を育成する必要があると考えます。

今年度、青少年委員会では、子供たちにこの地域の魅力を通して「故郷」の持つ素晴らしさを学び、成人してもこの地を愛し、永住したいと思う心を育くませることを目的とした事業を開催します。また、子供達に大人への大きな第一歩を踏み出してもらう為に社会参加の意義を伝える事業を開催し、「故郷」の未来を心から見つめることができる青少年を育成します。更には「わんぱく相撲」を開催することにより青少年の健全なる心身の育成をして参ります。

「宝物」である子供達が、「故郷」に興味を持つことで「故郷」を愛し、そしてこの愛すべき「故郷」の未来を心から見つめることにより、子供達は「故郷の宝」として大きな輝きを放ち地域を牽引する担い手として成長するものと確信致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 公開定例会（８月）　公１

「郷土愛を育む事業」（仮称）

子供達が故郷の素晴らしさを学び、心を育む事業

・通信運搬費	１０,０００円	・消 耗 品 費	３０,０００円
・印刷製本費	１０,０００円	・賃　借　料	１０,０００円
・委　託　費	１００,０００円	・雑　　費	３０,０００円

予算　１９０,０００円

◎ 公開定例会（１１月）　法人会計より

「模擬選挙」（仮称）

模擬選挙を通して子供達への社会参加の意義を伝える事業

・通信運搬費	１５,０００円	・消 耗 品 費	１０,０００円
・印刷製本費	５０,０００円	・雑　　費	１０,０００円
・委　託　費	１０,０００円		

予算　９５,０００円

※その他の事業

◎「青少年の社会参加の意義を伝える」（仮称）　法人会計より

子供達に社会参加の意義を伝え、故郷の未来を心から見つめる事業

・通信運搬費	１５,０００円	・消 耗 品 費	２０,０００円
・印刷製本費	１０,０００円	・賃　借　料	１００,０００円
・委　託　費	１８０,０００円	・雑　　費	２０,０００円

予算　３４５,０００円

◎ わんぱく相撲津軽地区及び全国大会　　公１

わんぱく相撲各会の設営及び運営

・旅費交通費	９０,０００円	・保　険　料	２,０００円
・委　託　費	３０,０００円	・通信運搬費	１,０００円
・支払負担金	１０,０００円	・雑　　費	３０,０００円

予算　１６３,０００円

事業費合計　７９３,０００円

まつり委員会

担当副理事長　楢　崎　誉　人

基本方針

我々が愛するこの奥津軽で「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穣」「悪疫退散」の祈りを込めて、地域の皆様と共に開催している「奥津軽虫と火まつり」も本年度で第４４回を迎えます。古くから地域の皆様に愛されているこのまつりも参加団体の減少、後継者不足等様々な問題を抱えております。大きな節目である「第５０回奥津軽虫と火まつり」の開催を念頭に置きながら、伝統の燈火を絶やさぬ様、関係諸団体と連携を図り継続的かつ進歩的な運動を展開して行かなければなりません。

その為にも、西北五地域の学生の方々に協力して頂きながら「奥津軽虫と火まつり」の意義をこの地域に住まう子供達へ確実に伝承し、共感をして頂いた方が「奥津軽虫と火まつり」に参加できる環境を整備して参ります。また、今年度も「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、現行の問題点やこれから起こり得る問題点を洗い出し、関係諸団体との連携を密に図りながら長期的な運動を展開して参ります。

広大な津軽平野と岩木川、そして母なる岩木山。心地良く愛おしいこの「故郷」に脈々と受け継がれてきた伝統の燈火を、「故郷」の宝である子供達に伝承する事が我々の願いである「明るい豊かな社会の実現」、そしてこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

委員長　田　中　宏　明

基本方針

愛しく誇れる私達の「故郷」、奥津軽。「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穣」「悪疫退散」の祈りを込めて、地域の皆様と協力して行ってきた「奥津軽虫と火まつり」も本年度で４４回を迎えます。伝統行事として定着したこのまつりも、観客数が徐々に増える一方、年々、参加団体が減少し、後継者不足等の問題が懸念されております。先人達から伝承を続け、長きに渡り行われてきたこのまつりの燈火を引き継いでいく為に、関係諸団体と協力し、持続的な運動展開をしなければなりません。

その為には、これまで行われてきた親善大使活動を継続し、高校生と大学生を親善大使に認定する定例会を開催し、親善大使による地域の皆様へのまつりの周知活動と、小学生へのまつりの意義の伝承を行います。そして、この活動を通じて共感を得た方達が「奥津軽虫と火まつり」に有意義に参加できる環境を整えて参ります。また、節目となる「第５０回奥津軽虫と火まつり」を念頭に置き、まつりの諸問題を解決する方法を考え、関係諸団体と協力し合いながら持続的な運動展開を行って参ります。

幾度となく天災を「不撓不屈」の精神で乗り越えてきた先人達。この先人達より受け継がれてきた「虫送り」の燈火を、地域の宝である子供達に伝承する事が、我々の願いである「明るい豊かな社会の実現」、そしてこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 公開定例会（４月）　公２

「学び、そして伝える奥津軽虫と火まつり」（仮称）

高校生と大学生が「奥津軽虫と火まつり」を学び、この地域に無くてはならないまつりである事を認識して頂く。また、親善大使の任命式を行って親善大使活動を意欲的に行っていく事をねらいとした定例会。

・通信運搬費	６，０００円	・消 耗 品 費	１０，０００円
・印刷製本費	６０，０００円	・燃　料　費	１０，０００円
・賃　借　料	１０，０００円	・保　険　料	５，０００円
・諸　謝　金	５，０００円	・委　託　費	１０，０００円
・雑　　費	１５，０００円		

予算　１３１，０００円

◎ 公開定例会（６月）　公２

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者と共に「天下泰平・国家安泰・五穀豊穣・悪疫退散」の祈りを込め地域の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	５，０００円	・通信運搬費	７０，０００円
・消耗什器備品費	３０，０００円	・消 耗 品 費	８５０，０００円
・印刷製本費	１００，０００円	・賃　借　料	１１０，０００円
・保　険　料	２００，０００円	・諸　謝　金	２００，０００円
・租 税 公 課	１０，０００円	・支払負担金	３５，０００円
・委　託　費	１，８００，０００円	・衛　生　費	２２０，０００円
・雑　　費	２２０，０００円		

予算　３，８５０，０００円

※その他の事業

◎ 奥津軽虫と火まつりの周知、そして伝承（仮称）（通年）　公２

「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活躍する事業。

・通信運搬費	５，０００円	・消 耗 品 費	２０，０００円
・印刷製本費	５，０００円	・保　険　料	１０，０００円
・委　託　費	３０，０００円	・雑　　費	３０，０００円

予算　１００，０００円

事業費合計　４，０８１，０００円

地域委員会

担当副理事長　上　見　一　嘉

基本方針

我々の住み暮らす「故郷」は、四季折々の魅力ある景観や、人の温かさを心で感じる事が出来る素晴らしい地域であります。そんな心地良い「故郷」を更に発展させるべく、我々青年会議所の諸先輩方は２０代から３０代までの青年期に集い、これまで長きにわたり幾多の地域振興運動を展開して参りました。我々は諸先輩方から受け継いだこれまでの功績や「故郷」を愛する精神を継承し、地域市民の意識向上を図りながらこの先も「明るい豊かな社会」の実現に向け歩みを進めなければなりません。

その為には、行政・市民・ＪＣが共に手を取り合いながら市民の生の声を市政に届ける為、世代を超えた市民参加型のまちづくり事業を今年も開催いたします。また、地域の様々な問題点を洗い出し、故郷」の更なる発展に繋がる可能性を模索しながら、市民団体との協働によるまちづくり運動を推し進めて参ります。さらには、市民が当事者意識を高め自らが率先して地域振興に向けた事業を展開できるよう努めて参ります。

我々青年会議所がこれまで紡いできた精神やまちづくり運動を推し進めることで、地域市民に意識変革を促し、市民が地域の為に率先して行動を起こすことこそが地域の発展、牽いては夢溢れる「故郷」の創造に繋がることと信じ、一年間邁進して参ります。

委員長　平　山　稔　洋

基本方針

我々、五所川原青年会議所の先輩方は、「修練」「奉仕」「友情」の三信条を基に、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、地域振興運動を展開して参りました。また、地域のまちづくりには市民同士の信頼関係・交流等、地域の問題に積極的に取り組む市民の力が必要不可欠です。そこで、市民の力を引き出す為に市民・行政・青年会議所が一体となり、三者が同じベクトルに向け、市民意識の向上に向けた運動を展開していかなければなりません。

その為には、２０１２年度から行われた市民の生の声を市政に届けることのできる「市民討議会」を今年度も開催し、地域の発展に繋がる可能性を見出す為に真剣に議論を重ね、市民参画意識を高められるよう市民同士が共感・共有できる場を作り上げて参ります。また、２０１３年度より設立された、市民と青年会議所が協働で行う「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を継続し、市民が率先して運動を展開できるよう努めて参ります。

地域のまちづくりを市民団体・行政と協働で行うことで、地域を支えているという当事者意識を持つことができ、時には大きな運動に発展していくものだと考えます。そして、「明るい豊かな社会」の実現、夢溢れる「故郷」の創造に繋がることと信じ、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会　らぶ・ごしょがわら運動（１０月）　公３

市民・行政・青年会議所が連携し、五所川原の魅力を体験できるまちづくり運動を展開できる事業

・通信運搬費	８，０００円	・保　険　料	１０，０００円
・印刷製本費	３０，０００円	・委　託　費	６０，０００円
・消 耗 品 費	２０，０００円	・諸　謝　金	３０，０００円
・賃　借　料	９０，０００円	・雑　　費	２２，０００円

予算　２７０，０００円

※その他の事業

◎ 五所川原市民討議会（７月）　公３

当事者意識を高め、明るい豊かな社会を創造する為の市民参加型討議会

・支払寄付金　　２３８，０００円

予算　２３８，０００円

◎ らぶ・ごしょがわら実行委員会の運営（通年）　公３

らぶ・ごしょがわら運動を円滑に実施する為の実行委員会の運営

・支払寄付金　　３２，０００円

予算　３２，０００円

◎ 五所川原市民討議会報告（１１月）　公３

五所川原市民討議会での企画・立案を五所川原市・市民に報告する為

・支払寄付金　　７０，０００円

予算　７０，０００円

◎ 五所川原市民討議会実行事業（１１月）　公３

五所川原市民討議会で出された意見を基に具現化する事業

・通信運搬費	８，０００円	・消 耗 品 費	１０，０００円
・印刷製本費	１０，０００円	・委　託　費	２００，０００円
・賃　借　料	３０，０００円	・雑　　費	１２，０００円

予算　２７０，０００円

事業費合計　８８０，０００円

ブロック大会特別室

担当室長　中　西　宗　興

基本方針

自然の美しさ・厳しさが同居する、我々が愛すべき「故郷」五所川原。今年度、青森ブロック協議会主催の青森ブロック大会が五所川原青年会議所主管で開催されます。これは県内各地会員会議所の皆様に五所川原の魅力を知って頂く絶好の機会であると同時に、地域の活性化の一助になりうる事業でもあり、当会メンバー一同おもてなしの心でお迎えし、青森ブロック協議会に対する支援をしていく事により、当会メンバーのＪＣ運動に対する意識高揚へと繋げていかなければなりません。

まず、メンバー一丸となって青森ブロック大会に取り組んでいく為に、当会メンバーに青森ブロック大会開催の目的の周知を図って参ります。そして、より多くの各地会員会議所の皆様に五所川原に来て頂く為、特別室が中心となり、当会メンバー全員とともに五所川原大会のＰＲを効果的・積極的に行い、五所川原の魅力を発信します。さらに、青森ブロック協議会との連絡調整・情報共有を確実に行い、大会の円滑な運営に寄与する事で、この大会を成功へと導いて参ります。

メンバーが切磋琢磨していく事で大会を成功に導き、会全体のＪＣ運動に対して取り組む姿勢が活性化することで、地域に対する運動の発信力を高め、より一層「明るい豊かな社会」の実現に向けて邁進していけるものと確信します。

担当理事　菊　池　孝　一

基本方針

今年度、青森ブロック協議会主催で行われる、第４６回青森ブロック大会が五所川原青年会議所主管で開催されます。この大会を機に、県内各地会員会議所の皆様に奥津軽五所川原の魅力をメンバー一同で発信しつつ、おもてなしの心でお迎えをし、青森ブロック協議会と連携・協力していくとともに、この大会を通して、当会メンバーに新たな気づきを得てもらい、ＪＣ運動に対する参画意識を高めていかなければなりません。

まずは、当会メンバー一丸となって大会構築をしていく為に、実行委員会を組織、運営致します。そして、大会の概要・目的の周知を図り、大会成功へと導く為の定例会を開催致します。さらに、各地会員会議所の皆様に一人でも多く参加頂けるように、五所川原の文化、観光、自然、精神性などの魅力を発信するＰＲを行います。また、青森ブロック協議会と当会との情報を共有し、連携、協力を確実にし、大会の円滑な運営をして頂く為の一助となれるよう、全力で取り組んで参ります。

メンバーが一丸となり、この大会を成功に収めたのち、一人ひとりの意識と資質が向上することで、当会のＪＣ運動がより活発化し、地域発展へと寄与することが、この「故郷」の未来が「明るい豊かな社会」の実現へと繋がっていくと確信致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎ 定例会（３月）　他２

大会の概要・目的を周知し、全会員でブロック大会を成功させるという意識を共有する定例会

・通信運搬費	５，０００円	・消 耗 品 費	３，０００円
・印刷製本費	３，０００円	・貸　借　料	６，０００円
・諸　謝　金	５，０００円	・委　託　費	３，０００円

予算　２５，０００円

※その他の主管

◎ 実行委員会の運営（３回）　他２

ブロック大会に係る会議体の運営

・通信運搬費	１，４００円	・印刷製本費	１４，８００円
・賃　借　料	７，８００円	・委　託　費	６，０００円

予算　３０，０００円

事業費合計　５５，０００円

年間スケジュール表（事業）

	１月	２月	３月	４月	５月	６月
日本青年会議所	京都会議 21日(木)～24日(日) 総会 (京都)23日(土)		総会 (東京)26日(土)			ASPAC (台湾/高雄) ２日(木)～５日(日)
東北地区協議会	正副会議 (盛岡)４日(金) (仙台)29日(金) 役員会議 (盛岡)18日(月) 会員会議所会議 (京都)22日(金)	正副会議 (仙台)26日(金) 役員会議 (仙台)５日(金) ゼミナール開校式 (仙台)６日(土)	正副拡大会議 (石巻)28日(月) 役員会議 (登米)18日(金) ゼミナール第１講座 (大館)12日(土)～13日(日)	正副会議 (山形)29日(金) 役員会議 (八戸)８日(金) ゼミナール第２講座 (原町)16日(土)～17日(日)	正副会議 (大館)27日(金) 役員会議 (北上)13日(金) ゼミナール第３講座 (盛岡)14日(土)～15日(日)	正副会議 (五所川原)27日(月) 役員会議 (浪江)10日(金) ゼミナール第４講座 (山形)18日(土)～19日(日)
青森ブロック協議会	役員会議 (青森)13日(水) 会員会議所会議 (八戸)30日(土) アカデミー大学開校式・第一講座 (八戸)30日(土) 新春名刺交換会 (八戸)30日(土)	役員会議 (青森)10日(水) 会員会議所会議 (十和田)27日(土)	役員会議 (青森)９日(水) 会員会議所会議 (むつ)4月2日(土)	役員会議 (青森)13日(水) 会員会議所会議 (弘前)30日(土) アカデミー大学第二講座 (弘前)９日(土)～10日(日)	役員会議 (青森)11日(水) 会員会議所会議 (黒石)28日(土)	役員会議 (青森)８日(水)・29日(水) 会員会議所会議 (青森)18日(土) アカデミー大学第三講座 (青森)11日(土)～12日(日)
五所川原青年会議所	新年祝賀会	通常総会	定例会	定例会	定例会	奥津軽虫と火まつり
理事会	５日(火)	５日(金)	５日(土)	５日(火)	５日(木)	５日(日)
総務委員会	新年祝賀会	通常総会				
青少年委員会					わんぱく相撲地区大会	
まつり委員会				定例会主管		奥津軽虫と火まつり
地域委員会	らぶごしょがわら運動 (通年)					
会員委員会				異業種交流会	定例会主管	ＯＢ交流会
ブロック大会特別室			定例会主管			

	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
日本青年会議所	サマーコンファレンス (横浜) 16日(土)～17日(日)			全国大会 (広島)６日(木)～９日(日) JCI世界会議 (ケベック) 10月30日(日)～11月４日(金)		
東北地区協議会	正副拡大会議 (原町)22日(金) 役員会議 (泉)８日(金) ゼミナール第５講座 (八戸)30日(土)～31日(日)	正副会議 (横手)19日(金)	正副拡大会議 (酒田)23日(金) 役員会議 (登米)２日(金) ゼミナール閉校式 (登米)３日(土) 東北青年フォーラム (酒田)３日(土)～４日(日)	正副会議 (郡山)28日(金) 役員会議 (湯沢)14日(金)	正副拡大会議 (水沢)25日(金) 役員会議 (新庄)14日(月)	役員会議 (盛岡)１日(木) 会員会議所会議 (盛岡)２日(金)
青森ブロック協議会	会員会議所会議 (五所川原)２日(土) アカデミー大学第四講座 (五所川原)２日(土)～３日(日) ブロック大会 (五所川原)２日(土)～３日(日)		役員会議 (青森)14日(木) 会員会議所会議 (十和田)24日(土) アカデミー大学第五講座 (十和田)10日(土)～11日(日)	役員会議 (青森)12日(水) 会員会議所会議 (三沢)22日(土) アカデミー大学第六講座・閉校式 (三沢)22日(土)	役員会議 (青森)９日(水) 会員会議所会議 (八戸)26日(土)	
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	定例会	通常総会	定例会	市民討議会実行事業	定例会
理事会	５日(火)	５日(金)	５日(月)	５日(水)	５日(土)	５日(月)
総務委員会	選考委員会選挙		通常総会			定例会主管
青少年委員会	わんぱく相撲全国大会	定例会主管				
まつり委員会						
地域委員会	市民討議会			定例会主管	市民討議会実行事業 市民討議会報告	
会員委員会		会員家族交流会	新入会員セミナー			
ブロック大会特別室	ブロック大会五所川原					

2016年度 公益社団法人 五所川原青年会議所 補正収支予算書

2016年 1月 1日～2016年12月31日
（単位 円）

科　　目	2016年度当初予算	2015年度当初予算	差異	備　　考
Ⅰ 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	**1,000**	**1,200**	−200	
②特定資産運用収入	**1,000**	**0**	1,000	通帳利息
③入会金収入	**0**	**0**	0	新入会員 ￥15,000 入会人数不明の為0
④会費収入	**6,360,000**	**5,760,000**	600,000	
正会員会費収入	5,400,000	5,160,000	240,000	￥120000×45名
新加入会員会費収入	0	0	0	￥120,000を入会月により月割 入会人数不明の為0
特別会員会費収入	960,000	600,000	360,000	￥120000×8名（2015年度卒業生）
賛助会員会費収入	**0**	**0**	0	￥10,000×0社
⑤事業収入	**4,800,000**	**4,400,000**	400,000	
登録料収入	0	500,000	−500,000	15年はじょっぱりロードの登録料50万
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	3,800,000	3,900,000	−100,000	15年はじょっぱりロード協賛30万、まつり企業協賛360万、16年はまつり380万
業務受託収入	0	0	0	
預り金収入	0	0	0	
雑収入	1,000,000	0	1,000,000	基金取り崩し
⑥補助金等収入	**50,000**	**50,000**	0	
受取民間補助金収入	50,000	50,000	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金収入	0	0	0	
⑦寄付金収入	**30,000**	**30,000**	0	
受取寄付金収入	30,000	30,000	0	
⑧雑収入	**1,000**	**1,228,545**	−1,227,545	
受取利息収入	1,000	1,500	−500	各受取利息、日専連受取利息
その他雑収入	0	1,227,045	−1,227,045	
事業活動収入計	**11,243,000**	**11,469,745**	−226,745	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	**7,318,000**	**6,814,000**	504,000	
総務委員会	335,000	392,000	−57,000	新年祝賀会、選考委員会委員選挙、12月定例会、褒章、WEBサイト
青少年委員会	793,000	1,743,000	−950,000	8月・10月定例会、わんぱく相撲
まつり委員会	4,081,000	3,761,000	320,000	4月・6月定例会、新善大使事業
地域委員会	880,000	647,000	233,000	10月定例会、市民討議会・報告会、らぶごしょがわら運営
会員委員会	229,000	151,000	78,000	5月定例会、異業種・OB・家族交流会、新入会員セミナー、拡大事業
会員拡大室	0	120,000	−120,000	
ブロック大会特別室	1,000,000	0	1,000,000	3月定例会、実行委員会運営、PR活動
事業会計支出	0	0	0	
②管理費	**3,592,576**	**3,270,756**	321,820	
給与手当	1,200,000	1,310,400	−110,400	職員給与
退職給付費用	36,000	36,000	0	3,000円×12カ月
福利厚生費	70,000	20,000	50,000	労働保険・雇用保険、会員お祝い・慶弔
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	20,000	−20,000	
通信運搬費	225,224	272,000	−46,776	電話料、通信費、プロバイダ料、事業外の発送費、総会￥20,000、会員名簿¥1,000
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	151,000	100,000	51,000	事務用品費等、認証書、総会消耗品¥10,000、会員名簿¥1,000
会員支給品費	35,000	20,000	15,000	バッジ、ネームプレート等
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	160,000	320,000	−160,000	事務局コピー代、総会資料¥10,000
燃料費	0	0	0	
水道光熱費	95,412	100,000	−4,588	電気料12ヵ月(7,951×12)
貸借料	686,940	562,356	124,584	家賃12ヵ月(38,912×12)、コピー機リース料(13,333×12)、総会会場費60,000
保険料	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	3,000	0	3,000	収入印紙、県証紙(納税証明等)
渉外費	300,000	250,000	50,000	慶弔費、諸会費、渉外費(お祝いお酒)
委託費	440,000	120,000	320,000	会員手帳、基本資料￥320,000、会計処理委託¥120,000
減価償却費	40,000	40,000	0	トランシーバー
衛生費	0	0	0	
支払負担金	0	0	0	
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
雑費	150,000	100,000	50,000	新聞代、振込手数料、広告費、外部手帳
③負担金	**958,500**	**974,573**	**−16,073**	
国際青年会議所負担金	61,875	53,298	**8,577**	¥1,375×45名
日本青年会議所負担金	679,500	694,500	**−15,000**	日本・地区・ブロック基本負担金、出向者負担金
国際協力資金	82,125	85,775	**−3,650**	¥1,825×45名
We Believe購読料	135,000	141,000	**−6,000**	¥3,000×45名
事業活動支出計	**11,869,076**	**11,059,329**	**809,747**	
事業活動収支差額	**−626,076**	**410,416**	**−1,036,492**	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	**0**	**0**	**0**	
2. 投資活動支出	**0**	**36,000**	**−36,000**	
①特定資産取得支出	**0**	**36,000**	**−36,000**	
退職給付引当資産取得支出	**0**	**36,000**	**−36,000**	
②固定資産取得支出	**0**	**0**	**0**	
什器備品取得支出	**0**	**0**	**0**	
投資活動支出計	**0**	**36,000**	**−36,000**	
投資活動収支差額	**0**	**0**	**0**	
Ⅲ 財政活動収支の部				
1. 財務活動収入	**0**	**0**	**0**	
2. 財務活動支出	**0**	**0**	**0**	
当期収支差額	**−626,076**	**374,416**	**−1,000,492**	
前期繰越収支差額	**19,059,440**	**0**	**19,059,440**	
次期繰越収支差額	**18,433,364**	**0**	**18,433,364**	

2016年度 公益社団法人 五所川原青年会議所 正味財産増減予算書内訳表
2016年1月1日から2016年12月31日まで

（単位　円）

科目名	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計
	地域青少年育成事業	虫と火まつり継続事業	地域の健全な発展	共通	小計	会員交流親睦事業	会員拡大・研修事業	JC発信運動事業	共通	小計			
	公1	公2	公3			他1	他2	他3					
Ⅰ　一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1)経常収益													
①基本財産運用益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1,000**	**0**	**1,000**
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
②特定資産運用益	**0**	**250**	**0**	**0**	**250**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**750**	**0**	**1,000**
特定資産受取利息	0	250	0	0	250	0	0	0	0	0	750	0	1,000
特定資産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取賃貸料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③受取入会金	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④受取会費	**0**	**0**	**0**	**1,908,000**	**1,908,000**	**0**	**0**	**0**	**1,908,000**	**1,908,000**	**2,544,000**	**0**	**6,360,000**
正会員会費	0	0	0	1,620,000	1,620,000	0	0	0	1,620,000	1,620,000	2,160,000	0	5,400,000
特別会員会費	0	0	0	288,000	288,000	0	0	0	288,000	288,000	384,000	0	960,000
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新入会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤事業収益	**0**	**3,800,000**	**0**	**0**	**3,800,000**	**945,000**	**55,000**	**0**	**0**	**1,000,000**	**0**	**0**	**4,800,000**
登録料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
懇親会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告料収益	0	3,800,000	0	0	3,800,000	0	0	0	0	0	0	0	3,800,000
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局受託収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	945,000	55,000	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
⑥受取補助金等	**0**	**50,000**	**0**	**0**	**50,000**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**50,000**
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	50,000	0	0	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦受取負担金	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧受取寄付金	**0**	**30,000**	**0**	**0**	**30,000**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**30,000**
受取寄付金	0	30,000	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
募金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨雑収益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1,000**	**0**	**1,000**
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有価証券運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
経常収益計	**0**	**3,880,250**	**0**	**1,908,000**	**5,788,250**	**945,000**	**55,000**	**0**	**1,908,000**	**2,908,000**	**2,546,750**	**0**	**11,243,000**
(2)経常費用													
①事業費	**353,000**	**4,081,000**	**880,000**	**1,589,288**	**6,903,288**	**1,361,000**	**143,000**	**60,000**	**953,573**	**2,517,573**	**0**	**0**	**9,420,861**
事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1　給料手当	0	0	0	600,000	600,000	0	0	0	360,000	360,000	0	0	960,000
2　退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3　福利厚生費	0	0	0	35,000	35,000	0	0	0	21,000	21,000	0	0	56,000
4　会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5　旅費交通費	90,000	5,000	0	0	95,000	0	0	0	0	0	0	0	95,000
6　通信運搬費	11,000	81,000	16,000	112,612	220,612	45,500	22,400	0	67,567	135,467	0	0	356,079
7　消耗什器備品費	0	30,000	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
8　消耗品費	30,000	880,000	30,000	75,500	1,015,500	118,000	18,000	0	45,300	181,300	0	0	1,196,800
9　会員支給品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10　修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11　印刷製本費	10,000	165,000	40,000	80,000	295,000	99,000	32,800	0	48,000	179,800	0	0	474,800
12　減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13　燃料費	0	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
14　光熱水料費	0	0	0	47,706	47,706	5,000	0	0	28,624	33,624	0	0	81,330
15　賃借料	10,000	120,000	120,000	343,470	593,470	106,000	20,800	0	206,082	332,882	0	0	926,352
16　保険料	2,000	215,000	10,000	0	227,000	20,000	0	0	0	20,000	0	0	247,000
17　諸謝金	0	205,000	30,000	0	235,000	0	35,000	0	0	35,000	0	0	270,000
18　租税公課	0	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
19　渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20　委託費	130,000	1,840,000	260,000	220,000	2,450,000	877,500	9,000	60,000	132,000	1,078,500	0	0	3,528,500
21　支払寄付金	0	0	340,000	0	340,000	0	0	0	0	0	0	0	340,000
22　衛生費	0	220,000	0	0	220,000	0	0	0	0	0	0	0	220,000
23　雑費	60,000	265,000	34,000	75,000	434,000	90,000	5,000	0	45,000	140,000	0	0	574,000
23　支払負担金	10,000	35,000	0	0	45,000	0	0	0	0	0	0	0	45,000
②管理費											**2,448,215**	**0**	**2,448,215**
1　給料手当											240,000	0	240,000
2　退職給付費用											36,000	0	36,000
3　福利厚生費											14,000	0	14,000
4　会議費											0	0	0
5　旅費交通費											0	0	0
6　通信運搬費											75,045	0	75,045
7　消耗什器備品費											0	0	0
8　消耗品費											60,200	0	60,200
9　会員支給品費											35,000	0	35,000

10	修繕費											0	0	0
11	印刷製本費											92,000	0	92,000
12	減価償却費											40,000	0	40,000
13	燃料費											0	0	0
14	光熱水料費											19,082	0	19,082
15	賃借料											237,388	0	237,388
16	保険料											0	0	0
17	諸謝金											0	0	0
18	租税公課											3,000	0	3,000
19	渉外費											300,000	0	300,000
20	委託費											278,000	0	278,000
21	記念品費											0	0	0
22	衛生費											0	0	0
23	雑費											60,000	0	60,000
24	支払負担金											958,500	0	958,500
25	日本青年会議所負担金											679,500	0	679,500
26	国際協力資金											82,125	0	82,125
	国際青年会議所負担金											61,875	0	61,875
27	We Believe購読料											135,000	0	135,000
	経常費用計	**353,000**	**4,081,000**	**880,000**	**1,589,288**	**6,903,288**	**1,361,000**	**143,000**	**60,000**	**953,573**	**2,517,573**	**2,448,215**	**0**	**11,869,076**
	評価損益等調整前当期経常増減額	−353,000	−200,750	−880,000	318,712	−1,115,038	−416,000	−88,000	−60,000	954,427	390,427	98,535	0	−626,076
	①基本財産評価損益等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	②特定資産評価損益等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	③投資有価証券評価損益等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	評価損益等計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	当期経常増減額	**−353,000**	**−200,750**	**−880,000**	**318,712**	**−1,115,038**	**−416,000**	**−88,000**	**−60,000**	**954,427**	**390,427**	**98,535**	**0**	**−626,076**
2. 経常外増減の部														
(1)経常外収益														
	①固定資産売却益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	建物売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借地権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電話加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②固定資産受贈益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外収益計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
(2)経常外費用														
	①固定資産売却損	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	建物売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両運搬具売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	什器備品売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	土地売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借地権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電話加入権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②固定資産除却損	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	土地減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	投資有価証券減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③災害損失	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④雑損失	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外費用計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	−353,000	−200,750	−880,000	318,712	−1,115,038	−416,000	−88,000	−60,000	954,427	390,427	98,535	0	−626,076
	一般正味財産期首残高	**0**	**0**	**0**	**0**	**5,730,814**	**0**	**0**	**0**	**0**	**4,250,706**	**9,077,920**	**0**	**19,059,440**
	一般正味財産期末残高	**−353,000**	**−200,750**	**−880,000**	**318,712**	**4,615,776**	**−416,000**	**−88,000**	**−60,000**	**954,427**	**4,641,133**	**9,176,455**	**0**	18,433,364
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
	①受取補助金等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②受取負担金	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③受取寄付金	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④固定資産受贈益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤基本財産評価益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥特定資産評価益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦基本財産評価損	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧特定資産評価損	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑨一般正味財産への振替額	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	指定正味財産期末残高	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
Ⅲ 正味財産期末残高		**−353,000**	**−200,750**	**−880,000**	**318,712**	**4,615,776**	**−416,000**	**−88,000**	**−60,000**	**954,427**	**4,641,133**	**9,176,455**	**0**	**18,433,364**

2016年度 公益社団法人 五所川原青年会議所 正味財産増減予算書
2016年1月1日から2016年12月31日まで

（単位 円）

科目	当年度	前年度	増減	備考
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	**1,000**	**1,200**	**−200**	
基本財産受取利息	1,000	1,200	−200	
②特定資産運用益	**1,000**	**0**	**1,000**	
特定資産受取利息	1,000	0	1,000	
特定資産受取配当金	0	0	0	
特定資産受取賃貸料	0	0	0	
③受取入会金	**0**	**0**	0	
受取入会金	0	0	0	
④受取会費	**6,360,000**	**5,760,000**	600,000	
正会員会費	5,400,000	5,160,000	240,000	
特別会員会費	960,000	600,000	360,000	
賛助会員会費	0	0	0	
新入会員会費	0	0	0	
⑤事業収益	**4,800,000**	**4,400,000**	400,000	
登録料収益	0	500,000	−500,000	
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	3,800,000	3,900,000	−100,000	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	0	0	0	
雑収益	1,000,000	0	1,000,000	
⑥受取補助金等	**50,000**	**50,000**	0	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取民間補助金	50,000	50,000	0	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	
⑦受取負担金	**0**	**0**	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
⑧受取寄付金	**30,000**	**30,000**	0	
受取寄付金	30,000	30,000	0	
募金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	
⑨雑収益	**1,000**	**1,228,545**	−1,227,545	
受取利息	0	1,500	−1,500	
有価証券運用益	0	0	0	
雑収益	1,000	1,227,045	−1,226,045	
経常収益計	**11,243,000**	**11,469,745**	−226,745	
(2)経常費用				
①事業費	**9,420,861**	**9,265,805**	**155,056**	
事業費	0	0	0	
1 給料手当	960,000	1,048,320	−88,320	
2 退職給付費用	0	0	0	
3 福利厚生費	56,000	16,000	40,000	
4 会議費	0	0	0	
5 旅費交通費	95,000	395,000	−300,000	
6 通信運搬費	356,079	446,600	−90,521	
7 消耗什器備品費	30,000	60,000	−30,000	
8 消耗品費	1,196,800	1,037,500	159,300	
9 会員支給品費	0	0	0	
10 修繕費	0	0	0	
11 印刷製本費	474,800	500,500	−25,700	
12 減価償却費	0	0	0	
13 燃料費	10,000	110,000	−100,000	
14 光熱水料費	81,330	80,000	1,330	
15 賃借料	926,352	1,073,885	−147,533	
16 保険料	247,000	282,000	−35,000	
17 諸謝金	270,000	245,000	25,000	
18 租税公課	10,000	10,000	0	
19 渉外費	0	0	0	
20 委託費	3,528,500	2,361,000	1,167,500	
21 支払寄付金	340,000	670,000	−330,000	
22 衛生費	220,000	165,000	55,000	
23 雑費	574,000	765,000	−191,000	
24 支払負担金	45,000	0	45,000	

	②管理費	**2,448,215**	**1,953,524**	**494,691**	
1	給料手当	240,000	262,080	−22,080	
2	退職給付費用	36,000	36,000	0	
3	福利厚生費	14,000	4,000	10,000	
4	会議費	0	0	0	
5	旅費交通費	0	20,000	−20,000	
6	通信運搬費	75,045	54,400	20,645	
7	消耗什器備品費	0	0	0	
8	消耗品費	60,200	20,000	40,200	
9	会員支給品費	35,000	20,000	15,000	
10	修繕費	0	0	0	
11	印刷製本費	92,000	64,000	28,000	
12	減価償却費	40,000	40,000	0	
13	燃料費	0	0	0	
14	光熱水料費	19,082	20,000	−918	
15	賃借料	237,388	144,471	92,917	
16	保険料	0	0	0	
17	諸謝金	0	0	0	
18	租税公課	3,000	0	3,000	
19	渉外費	300,000	250,000	50,000	
20	委託費	278,000	24,000	254,000	
21	記念品費	0	0	0	
22	衛生費	0	0	0	
23	雑費	60,000	20,000	40,000	
24	支払負担金	958,500	974,573	−16,073	
25	日本青年会議所負担金	679,500	694,500	−15,000	
26	国際協力資金	82,125	85,775	−3,650	
27	国際青年会議所負担金	61,875	53,298	8,577	
28	We Believe購読料	135,000	141,000	−6,000	
	経常費用計	**11,869,076**	**11,219,329**	**649,747**	
	評価損益等調整前当期経常増減額	−626,076	250,416	−876,492	
	①基本財産評価損益等	**0**	**0**	**0**	
	②特定資産評価損益等	**0**	**0**	**0**	
	③投資有価証券評価損益等	**0**	**0**	**0**	
	評価損益等計	**0**	**0**	**0**	
	当期経常増減額	**−626,076**	**250,416**	**−876,492**	
2. 経常外増減の部			**0**	**0**	
(1)経常外収益					
	①固定資産売却益	**0**	**0**	**0**	
	建物売却益	0	0	0	
	車両運搬具売却益	0	0	0	
	什器備品売却益	0	0	0	
	土地売却益	0	0	0	
	借地権売却益	0	0	0	
	電話加入権売却益	0	0	0	
	②固定資産受贈益	**0**	**0**	**0**	
	土地受贈益	0	0	0	
	投資有価証券受贈益	0	0	0	
	経常外収益計	**0**	**0**	**0**	
(2)経常外費用			**0**	**0**	
	①固定資産売却損	**0**	**0**	**0**	
	建物売却損	0	0	0	
	車両運搬具売却損	0	0	0	
	什器備品売却損	0	0	0	
	土地売却損	0	0	0	
	借地権売却損	0	0	0	
	電話加入権売却損	0	0	0	
	②固定資産除却損	**0**	**0**	**0**	
	土地減損損失	0	0	0	
	投資有価証券減損損失	0	0	0	
	③災害損失	**0**	**0**	**0**	
	災害損失	0	0	0	
	④雑損失	**0**	**1,221,321**	**−1,221,321**	
	雑損失	0	1,221,321	−1,221,321	
	経常外費用計	**0**	**1,221,321**	**−1,221,321**	
	当期経常外増減額	0	−1,221,321	1,221,321	
	他会計振替額			0	
	当期一般正味財産増減額	−626,076	−970,905	344,829	
	一般正味財産期首残高	**19,059,440**	**19,438,849**	**−379,409**	
	一般正味財産期末残高	**18,433,364**	**18,467,944**	−34,580	

Ⅱ　指定正味財産増減の部				
①受取補助金等	**0**	**0**	**0**	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取民間補助金	0	0	0	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
②受取負担金	0	**0**	**0**	
受取負担金	0	0	0	
③受取寄付金	0	**0**	**0**	
受取寄付金	0	0	0	
④固定資産受贈益	0	**0**	**0**	
土地受贈益	0	0	0	
投資有価証券受贈益	0	0	0	
⑤基本財産評価益	0	**0**	**0**	
基本財産評価益	0	0	0	
⑥特定資産評価益	0	**0**	**0**	
特定資産評価益	0	0	0	
⑦基本財産評価損	0	**0**	**0**	
基本財産評価損	0	0	0	
⑧特定資産評価損	0	**0**	**0**	
特定資産評価損	0	0	0	
⑨一般正味財産への振替額	0	**0**	**0**	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	**0**	**0**	
指定正味財産期末残高	0	**0**	**0**	
Ⅲ　正味財産期末残高	**18,433,364**	**18,467,944**	**−34,580**	

2015年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事　業　報　告

収 支 決 算 書

庶　務　報　告

２０１５年度をかえりみて

２０１５年度理事長　佐　藤　昭　義

今年度、五所川原青年会議所は「勇往邁進」～共に突き進もう希望溢れる未来を創るために～のスローガンを柱に、愛する故郷の新たな未来の為に果敢に挑戦し、「明るい豊かな社会」の実現に向け２０１５年度歩みを進めて参りました。

まずは、１月１１日開催された新年祝賀会においては総務情報発信委員会の設えの基、多数の来賓をお呼びし盛大に開催させて頂いたこと心より感謝申し上げます。私も今まで味わったこの無い緊張感の中で所信表明をさせて頂いたことをつい昨日のように思い出します。総務情報発信委員会は３月総会、７月選考委員選挙、９月通常総会、１２月定例会、基本資料、会員手帳、定例会の設営等、年間を通じて大変忙しい委員会でしたが花田委員長を始めとする委員の皆様には各委員会と連携を図りスムーズな運営をして頂いたことに対して心より感謝申し上げます。

そして、青少年育成委員会は地域の未来を担う子供達の育成にご尽力を頂きました。公益事業である「じょっぱりロードOMOＩＹＡＲＩへの旅」と「郷土愛」をテーマに事業を開催して頂きました。事業を構築される際には大変ご苦労された事と思います。四泊五日の長い旅を通じて子供達に人として大切な心「ＯＭＯＩＹＡＲＩ」の心を育んで頂いたと思っております。「郷土愛」については五所川原の歴史、立佞武多を通じて子供達に郷土の大切さを伝えて頂きました。對馬委員長におかれましては初委員長という事で中々、上程議案が通らなく挫けそうになりながらも委員に支えられ最後までやり遂げた事に心より敬意を表します。

また、昭和４８年より途絶える事無く開催している「奥津軽虫と火まつり」ですが、今年度は継承と発展をキーワードにまつり及び定例会を開催して頂きました。まつり前に開催した５月定例会、地域の高校生を対象にまつり親善大使を任命しまつりを若い世代に継承し地域に広く周知して頂きました。秋元委員長を始めとする委員の皆様に心より感謝申し上げます。今年度は「奥津軽虫と火まつり」実行委員会の実行委員長に今一憲君を任命し、その担いを一生懸命、まつり本番まで舵をとって頂きました。今実行委員長のアイディアがまつりの発展に大きく寄与されたと思っております。伝統あるまつりはいつの時代も変わること無く続けていかなくてはなりませんが、その時代に合わせて行くことも必要だと考えております。今年度のまつり継承委員会では見事、継承と発展両方達成出来たと思っております。

さらに、市民が誇れるまちづくりを目指し五所川原市と協働で「五所川原市民討議会」を開催させて頂きました。参加された市民の皆様にまちが抱える問題を浮き彫りにし、五所川原市重点プロジェクトに反映させて頂きました。そして、青年会議所と市民の皆様で運営している「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を今年度も組織し、事業計画を立て実行して参りました。まずは、ごしょりん健康体操の普及から始まり子供達に郷土愛を育む事を目的とした事業、「五所川原探検隊」の開催や、五所川原の魅力をＰＲする為の「わがまちＣＭ大賞」の出場及びアイディア賞の受賞など様々な活動をして頂きました。市民とＪＣが協働でまちの為に一歩ずつ確実に行動を起こし、市民が誇れるまちづくりに繋がったものと確信致しました。

そして、今年度は全会員で会員拡大の目標を達成する為に会員特別室を設置させて頂きました。荒関室長には拡大の意義を会員に伝えて頂き、佐々木担当理事には会員拡大の為に企画・立案をし、異業種交流会３回を実施しました。昨年度の会員勧誘も効果を発揮し今年度、１０名の新入会員が入会致しました。会員の減少が運動の低下に繋がりかねない状況の中、今回の入会は大いに五所川原青年会議所の

活力と成る筈です。

さらに、会員の入会は非常にうれしさもありますが、五所川原青年会議所のメンバーも入会３年未満が会員の約半分となりＪＣ運動を実行する為には会員資質向上を図らなければならない為、会員資質向上委員会を設置させて頂きました。青年会議所がなぜ地域に必要なのかという部分を会員に伝え青年会所が掲げる三信条「奉仕」「修練」「友情」の意義を会員に伝えて頂きました。これから地域を担う人材の育成に繋がったものと確信致しました。

最後に今年度、理事長という大役を頂き最初は不安で一杯でした。一人で抱え込もうとして、一人で頑張らなければ勤まらないと思っておりましたが、気づいたことは一人の力は小さいものですが、私には五所川原ＪＣという素晴らしい仲間がいることを実感しました。誰かが誰かを支え共に仲間を信じ目標に向かって突き進むことが今年度の掲げたスローガン「勇往邁進」～共に突き進もう希望溢れる未来を創るために～でした。多くの気づきと学びを頂き２０１５年度、五所川原青年会議所に関った全ての皆様に感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

総務情報発信委員会

副理事長　楢　崎　誉　人

本年は総務情報発信委員会の担当副理事長として運動をして参りました。私自身、初の副理事長の職務と言う事もあり戸惑いながらの一年間でしたが、多くの方々に支えられながら役職を終えられたことに心から感謝を申し上げます。

花田委員長も慣れない事務仕事を悩みながら頑張ってくれました。総務情報発信委員会のメンバーは優秀な人材ばかりで、トラブルが起きても臨機応変に対応してくれました。その時、頼もしく感じたのを今でも覚えています。

あっという間の一年でしたが、彼らと今年一緒に仕事を出来た事に心から感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

青少年育成委員会

副理事長　上　見　一　嘉

２０１５年度青少年育成委員会担当副理事長を務めさせていただきました。予定者段階から基本方針を書きながら、今年一年委員長がどの様な委員会活動をし、地域市民に向け何を発信するのか楽しみでした。まずは、わんぱく相撲津軽地区大会、全国大会は子供達の勢いある試合から、子供たちは礼儀や思いやりの心を学ぶ事が出来ました。そして奥津軽虫と火まつり河原部会では、委員長が不在の中、副委員長が奮闘し、委員会メンバーや他のメンバーをまとめ上げ、見事河原部会を成功に導きました。じょっぱりロード２０１５・じょっぱりロード２０１５事業報告会では、「笑顔」をテーマに子供達に思いやりとは何かを学んでもらう良い機会を与えられたのではないかと思います。郷土愛を育む為の１０月定例会では、立佞武多を題材として地域の魅力を再認識し、地域を皆で良くして行く事に繋がる定例会であったと思っております。この様な一年を振り返ると、委員長を盛り上げてくれる素晴らしい委員会メンバーの皆さんと、皆に支えられ行動する素晴らしい委員長と係わりあえた事に心から感謝いたします。私は担当副理事長として至らない部分ばかりでしたが、お付き合いいただき一年間本当にありがとうございました。

まつり継承委員会

副理事長　今　　一　憲

今年度、「奥津軽虫と火まつり」実行委員長並びにまつり継承委員会副理事長を務めさせて頂きました。委員長が主導で活動した親善大使事業に関しては、高校や大学生はもちろん小学生の皆様も、このまつりの氷山の一角に触れて頂く場となりました。大人になっても、このまつりに触れたかけがえのない経験は、故郷を想う気持ちへも通ずるものであると確信いたしております。委員長をはじめとする委員会の皆様、本当お疲れ様でした。また、まつり本番に関してですが、言うまでもなく五所川原青年会議所の一大事業でもあります。ほんの３時間程のその一瞬に向け、たくさんの地域の皆様のご協力を得ながら、会員一丸で準備する中での、「大虫の昇天」は私にとっても一生の財産となりました。本当に会員の皆様、地域の皆様ありがとうございました。副理事長という立場でありながら、無我夢中で活動したのをまだ半年という月日しか経たぬ今でも少し懐かしく感じているところであります。あと数年で５０回目を迎えるこの「奥津軽虫と火まつり」。未来永劫地域の皆様とつくりあげるこのまつりに携われたことに対しまして、この場を借りて感謝御礼申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

市民運動促進委員会

副理事長　佐々木　邦　和

今年度、市民運動促進委員会副理事長を務めさせて頂きました。委員長の主導の下、委員が委員長をサポートする形で滞りなく事業実施できたものと考えます。五所川原市市民討議会は例年に以上の参加希望者に恵まれ、少しずつではありますが、地域に浸透していることを実感することができました。また、らぶ・ごしょがわら実行委員会での活動は、本年より運営形式を変更する形でスタートいたしましたが、青年会議所としての運動を全うできたものと感じております。次年度においても、この運動を絶やすことなく、時代に即した変化を、そしてより効果的な事業へ昇華してくださることを期待しております。初めての副理事長という職務で委員会のみなさま、理事のみなさまには多くのご苦労と多大なるご協力いただきながら職務を務めることができました。一年間、本当にありがとうございました。

会員資質向上委員会

副理事長　高　橋　美　奈

２０１５年度、資質向上委員会の担当副理事長、青森ブロック協議会に財政局長として出向し、一年間活動して参りました。資質向上委員会では、会員向けの交流会やセミナーなど数多い事業や定例会がありましたが、島村委員長率いる委員会メンバーと一丸となり、楽しく有意義に会員同士の交流を深める事、新入会員含めメンバーの資質向上につながる内容で各事業を実施する事が出来ました。
また、青森ブロック協議会の財政局長として各種会議への出席は勿論、日本青年会議所や東北地区協議会との連携で沢山の学びや気づきを得る事が出来ました。２年連続の出向は、苦労や悩み、時には孤独感も感じる事もあり、決して楽な事ではございませんでしたが、出向したからこそ出来たつながりや絆、知識の習得など、今となれば本当に良い経験となり自分自身の成長にもつながったものと確信しております。

このような担いを与え、支えてくださった、佐藤理事長はじめＬＯＭの仲間に、この場をお借りして心から感謝、御礼を申し上げます。一年間本当にありがとうございました

会員拡大室

室長　荒　関　晃　介

２０１５年度、会員拡大室室長を務めさせていただき、佐々木担当理事と各委員会からの拡大担当者と共に会員拡大運動を行ってまいりました。そして今年度は「一人一カ所運動」をテーマに掲げ、定例会では全会員に会員拡大の必要性を理解していただき、会員拡大の意識を高めていただきました。

また、事業では異業種交流会を３回開催し、ボーリング異業種交流会、初めての試みで開催した異業種女子会、今年度入会した新入会員による異業種交流会を開催し全会員を巻き込むことができたと感じております。

その中で今年度は１２名入会し、目標の二桁に達成したことは全会員での拡大運動による結果だと思っており感謝しております。一年間、本当にありがとうございました。

委員会活動報告

総務情報発信委員会

構成メンバー

副理事長　　楢崎　誉人
委 員 長　　花田憲一郎
副委員長　　髙松　一政
委　　員　　秋田　　純、工藤　晃史、成田　和代、神成修太郎、齋藤直飛人

基本方針

公益社団法人五所川原青年会議所は地域の為、市民の為に率先し「明るい豊かな社会」の実現に向け青少年育成事業・地域社会の発展に繋がる事業を展開して参りました。そして、先輩諸兄の皆様が今日までＪＣ運動を紡ぎ２０１４年度認承５０周年を迎える事となりました。その想いを絶やす事無く次なる半世紀に向け新たな一歩目を踏み出す為にも、総会を行い組織の運営管理体制を確立し各委員会の定例会の確実なサポート、さらには、ＪＣ運動を伝播していく事が必要であると考えます。

２０１５年度総務情報発信委員会としては、会員名簿の作成・基本資料の作成・新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙を行います。そして、各委員会・公益運営局・会員拡大室と連携を図り各委員会が行う定例会の日程を把握し設営して参ります。さらには、五所川原青年会議所全会員と情報の共有に努め総務情報発信委員会が当会の中心となり地域の皆様にホームページを活用し情報の発信をして運営管理に取り組んで参ります。

総務情報発信委員会が確実に総会を行い各委員会で行う定例会の設営を確実に実行し次なる半世紀に向け確かな一歩を踏み出す事で、我々が創造する「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し、一年間邁進して参ります。

事業報告

○１月新年祝賀会

開 催 日：平成２７年１月１１日（日）
開催場所：ホテルサンルート五所川原
参加員数：対外５８名、会員３０名、合計８８名
事業内容：２０１５年度の当会の活動内容並びに方向性を関係諸団体の皆さまに発表し、認知と浸透を図った。

○基本資料・会員名簿作成

○３月通常総会

開 催 日：平成２７年３月２０日（金）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員４０名

事業内容：２０１４年度の事業報告及び収支決算を承認し、２０１５年度の事業計画を推し進める為の意識高揚を図った。

○７月定例会「選考委員会委員選挙」

開 催 日：平成２７年７月２２日（水）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員３１名
事業内容：当会役員選任規程第３条４項に基づき、次年度役員を選考する役員選考委員会を設置するため、選考委員を３名連記の無記名方式による選挙を行い、上位得票者を選出した。

○９月通常総会

開 催 日：平成２７年９月１６日（水）
開催場所：ホテルサンルート五所川原
参加員数：会員３２名
事業内容：当会の２０１６年度の役員候補者を承認し、その活動体制を整えた。

○１２月定例会

開 催 日：平成２７年１２月２０日（日）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：会員３８名
事業内容：当会の２０１６年度の運動方針と事業計画を会員に周知し、その活動体制を整えた。

○ＬＯＭ内褒賞の企画

○定例会の設営

か え り み て

今年一年、総務情報委員会の委員長として委員の皆さんと共に活動して参りました。
私自身総務とゆう職務は不慣れで今年一年は自分にとっての修練でした。その中で行った基本資料の作成・会員手帳の作成を始め１月新年祝賀会を無事開催し各関係諸団体に周知してもらいスタートをきる事が出来ました。２月通常総会では２月に行えない状況になり皆さんの御尽力をいただいて３月に総会を無事行えました。７月には次年度理事長候補者を決める選考委員選挙を開催し次年度候補者を決める事が出来ました。

９月には通常総会を行い役員の皆さま、委員会メンバーにフォローしていただき次年度委員長候補者を発表し総会を無事終える事が出来ました。１２月定例会の場では９月総会とは違い基本方針・収支予算案の報告を行い次年度へと繋がる懸け橋になったと思います。

今年委員長職を与えてくれ影で支えて頂いた佐藤理事長・楢崎副理事長・委員会メンバーの方々の協力には感謝の気持ちでいっぱいです。又、今年一年間支えて下さりありがとうございました。ご参加下さった会員の皆様ありがとうございました。

益社団法人 五所川原青年会議所
2015年度　新年祝賀
JCI

公益社団法人 五所川原青年会議所 2014年度
通　常　総　会
JCI

2015年度　7月定例会
考委員会委員選挙
国全国大会東北八戸大会について
JCI

公益社団法人 五所川原青年会議所
意　表　明　会

公益社団法人　五所川原青年会議所
０１５年度１２月定例会
JCI

公益社団法人　五所川原青年会
２０１５年度１２月
JCI
GOSHOGAWA

青少年育成委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　上見　一嘉
委 員 長　　對馬　幸征
副委員長　　葛西　良樹
委　　員　　乗田　正純、原田美由紀、小枝　孝太、小野　顕成、外﨑　　紳、豊澤　孝行

基 本 方 針

現代の子供達を取り巻く環境は、著しく変化し様々な問題が発生しております。その原因は多岐にわたり、いじめや不登校なども要因の一つに挙げられます。その様な環境に置かれた、子供達は学校行事や地域活動などには意欲的ではなく、子供達が無邪気に笑い遊ぶ姿を目にすることが少なくなりました。そんな子供達に、人と人とのふれあいの中で生まれる「笑顔」とは何かを考える場を提供し、住み暮らす西北五地域の魅力や郷土の美しさを、次代を担う子供達に伝えて行かなければなりません。

そこで、当委員会では「笑顔」をテーマに、人と人とのふれあいの中で「ＯＭＯＩＹＡＲＩ」を育み、礼儀作法など人格を形成する上で重要な様々な要素を学ぶことができる徒歩事業を展開して参ります。また、「わんぱく相撲」を通じて子供達が、心身の鍛錬と健康の促進を図るとともに、立ち向かう勇気や、相撲が持つ礼節により、思いやる気持ちや感謝の心を育めるように促します。さらに、私達の住み暮らす西北五地域の魅力を感じる事が出来る定例会を開催し、郷土愛に繋げて参ります。

子供達の心にある「笑顔」という蕾が、思いやりの心を学ぶ事で花を咲かせ、「未来」という名の燦々と光り輝き続ける太陽に向かい一歩一歩成長し続ける事が、やがては「明るい豊かな社会」に繋がるものと確信し一年間全力で邁進して参ります。

事 業 報 告

○第３１回わんぱく相撲津軽地区大会

開 催 日：平成２７年６月２１日（日）
開催場所：青森県武道館
参加員数：対外５０名、対内１５名、合計６５名
事業内容：子ども達が第３１回わんぱく相撲全国大会の出場権をかけた競技を行うとともに、心身を鍛練した。公益社団法人弘前青年会議所との共同開催。

○第３１回わんぱく相撲全国大会

開 催 日：平成２７年８月１日（土）、２日（日）
開催場所：東京都　両国国技館
参加員数：対外３名、対内２名、合計５名
事業内容：各地区大会を勝ち抜いた子ども達が、第３１回わんぱく相撲全国大会において日頃の鍛練の成果を存分に発揮した。公益社団法人東京青年会議所が主催。

○８月公開定例会「じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」

開 催 日：平成２７年７月２９日（水）～８月２日（日）

開催場所：深浦～鰺ヶ沢～五所川原

参加員数：対外５７名、対内５４名、合計１１１名

事業内容：４泊５日７５ｋｍの徒歩の旅を通じて、ボランティアスタッフには大人としての自覚と責任感、利他の心、他人を思いやる気持ちを実感していただいた。また、小学生参加者にとっては親元を離れ、身の回りの全てのことをチームで行うことで気づく、親への感謝や尊敬の念、そして仲間の大切さとコミュニケーションの重要性を学んでいただいた。

○じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～　事業報告会

開 催 日：平成２７年９月１３日（日）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対外４７名、対内２５名、合計７２名

事業内容：８月に開催された「じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」に参加された小学生参加者とボランティアスタッフに旅の思い出を振り返っていただき、この徒歩事業の成果を検証した。

○１０月公開定例会

開 催 日：平成２７年１０月２５日（日）

開催場所：五所川原市内　ねぷた運行団体　誠和会製作小屋

参加員数：講師１名、対外２３名、対内１３名、合計３９名

事業内容：立佞武多絵師の福士裕朗氏を講師に招き、立佞武多の歴史を学びながら実際にその製作体験を行うことを通じて、郷土を愛しむ心とまつりに携わって来た人々への感謝の想いを醸成した。

かえりみて

入会してから３年間、五所川原青年会議所の三大事業の一つである「じょっぱりロード～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」に携わり、今年度初委員長兼初団長を務めさせていただきました。

今年は「笑顔」をテーマに掲げ歩く距離や宿泊数よりもレクレーション交流に力を入れ、参加してくれる子供達・ボランティアが一回りも二回りも成長できるよう委員会メンバーで話し合い歴代団長の方々にもご意見を頂き挑んだ「じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」はお陰様をもちまして無事に誰一人欠ける事なく「笑顔」でゴールする事が出来ました。子供達やボランティアはもちろん、私を含めた委員会全員が成長させていただきました。わんぱく相撲では、相撲の礼節や子供達の戦いの中での敗者への気遣いや子供達に教えられるものがたくさんあり感動をいただきました。

様々な事業を通じて、私は人が人を思いやることで生まれる感情は自分を成長させ、充実した時間を刻めると感銘を受けました。

青少年育成のために御協力して下さいました皆様、１年間ありがとうございました。

RESPECT～思いを思い思いやる心～

まつり継承委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　今　　一憲
委 員 長　　秋元　　隆
副委員長　　芹川　　臣
委　　員　　境谷　一智、松橋　康成、工藤　　誠、工藤　智哉、小笠原崇文

基 本 方 針

昭和４８年から地域に受け継がれてきた「虫おくり」に、我々青年会議所が火を加え「虫送りと火まつり」となり、その後も継承と発展を繰り返し、地域の皆様と先輩方に支えられ「奥津軽虫と火まつり」に名称を変え、今年度４３回目を迎える五所川原の伝統行事の一つとなりました。しかし、まつりに携わる人材の不足、それに加えて企業や地域の参加団体の減少により、まつり自体の継承も今後危ぶまれている状況です。今こそ、この素晴らしいまつりの魅力を継承し、発展させていかなければなりません。

そのためには、まつりを支えてきて頂いた方々や当会議所ＯＢと今後のまつりについて話し合い、方向性を定め、発展のための意見交換などを行います。その上で、地域で育まれてきたまつりの価値を地域の皆様と共に認識し、小松明などを製作体験する定例会を開催致します。またこれまでの親善大使事業を通じて、地域の若い世代へのまつりの継承を進めていきます。そして、現代にふさわしい形に発展させ、一丸となって「奥津軽虫と火まつり」を開催し次代に向けて継承して参ります。

先人たちから継承されてきた「奥津軽虫と火まつり」。現代に即した部分の発展と、本質の部分の継承。両輪がしっかりと回ることにより、未来永劫、本質を見失うことなく受け継がれていく「まつり」となるよう邁進して参ります。

事 業 報 告

○５月公開定例会「まつりの価値を共に認識し未来へ発展させる」

開 催 日：平成２７年５月１７日（日）
開催場所：五所川原市中央公民館
参加員数：講師１名、対外７９名、会員３０名、合計１１０名
事業内容：虫おくり団体「飯積蟲會」から太田康成氏を講師にお招きし、先人達から続くこのまつりの継続について講話をいただきました。また、西北五地域から集まった高校生が話し合いをして、まつりの継続のためにどのような行動を起こせるのかを発表しました。

○奥津軽虫と火まつり親善大使活動

開 催 日：平成２７年５月１７日（日）～６月
開催場所：県内テレビ（ＡＴＶ　わっち）、五所川原市内
参加員数：対外９６名、会員４８名、合計１４４名
事業内容：県内の情報番組や新聞紙での広報活動をはじめ、市長表敬訪問、まつり運行経路となる街頭清掃活動、小学校へのまつり紙芝居の上演、まつり本番参加を実施し、まつりの観覧動員数を押し上げた。

○６月公開定例会「奥津軽虫と火まつり」

開 催 日：平成２７年６月２０日（土）

開催場所：五所川原市内（大町～岩木川河川敷）

参加員数：会員４６名、虫おくり団体、火まつり団体、市民観覧者

事業内容：立佞武多の館前から、参加団体（虫おくり・火まつり・演舞・囃子）の隊列が岩木川河川敷まで練り歩き、河原にて神職による神事と大虫の昇天の儀式を執り行った。まつりの最後には、地域の幸せを願う「弥栄三唱」が唱えられ滞りなく終えられた。

か え り み て

五所川原青年会議所の最大の事業といっても過言ではない「奥津軽虫と火まつり」。この事業を広く伝えるために親善大使事業を今年度も行わせていただきました。当初は親善大使に応募してくれるだろうか、自分たちがしっかりと広め伝えることできるだろうかという不安でいっぱいしたが、不器用ながらも各高校や大学に行き親善大使の募集をお願いしたところ、沢山の生徒さんの応募をいただき親善大使事業を行うことができました。事業においても親善大使の皆さんと小学校に行き、紙芝居や小松明製作などを通じて「奥津軽虫と火まつり」を少しでも広め伝えることができたと思っております。

今年度まつり継承委員会において活動し支えていただいた委員の皆様、副理事長、そして親善大使事業において御協力いただいた関係団体、学校の皆様本当にありがとうございました。

市民運動促進委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　佐々木邦和
委 員 長　　田中　宏明
副委員長　　對馬　央也
委　　員　　木村健太郎、山田　貴之、平山　智久、下川原伸彦、長谷川泰典

基 本 方 針

５１年の歴史のある五所川原青年会議所の今日があるのは、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、不撓不屈の精神で継続的成長を遂げてきた先輩方の功績がある為です。我々はその歴史と意思を学び継承し、更なる発展へと向けて歩みを進めて行かなければなりません。そして、当会では更なる発展を「市民が誇れるまち」の創造と位置づけ、市民の声を基にした確かな計画を持って、市民と共に行動して行く事が重要だと考えます。

当会では、市民の自治意識の向上と自治の担い手の育成を目的として、「市民」「行政」「青年会議所」が連携して行う「市民討議会」を開催致します。また、まちづくり事業を通じて五所川原市の発展に寄与することを目的として、市民との協働による「らぶ・ごしょがわら運動」を展開して参ります。かつ、これらの運動が「市民が誇れるまち」の創造へと発展するよう、市民と共に思案し行動する機会を創造致します。

これらの運動は、地域のより輝かしい未来へ向けて確実な前進と考えます。そして、これは「明るい豊かな社会」の実現へ繋がるものと信じております。この運動は素晴らしいものと仲間と実感できる日が必ず来るという強い信念を持ち、一年間邁進して参ります。

事 業 報 告

○らぶ・ごしょがわら実行委員会

開 催 日：通年
開催場所：五所川原市民学習情報センターほか
参加員数：対外８名、対内６名、合計１４名
事業内容：市民とともに私達でできる五所川原のまちづくり運動について企画運営し、本年は「ごしょりん健康体操推進事業」、「パパハグへの出店」、「青森放送わがまちＣＭ大賞への作品出展」、「五所川原産業まつりへのらぶごしょ弁当製作販売」を行った。

○五所川原市民討議会

開 催 日：平成２７年７月１１日（土）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：対外４２名、対内１７名、合計５９名
事業内容：無作為に抽出された１５００名の市民の中から３５名の参加を得て、五所川原市総合計画重点戦略をもとに地域の課題解決に向けた行動についてグループワークをしていただきました。

○１１月定例会「市民討議会報告会」

開 催 日：平成２７年１１月１８日（水）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対外４２名、対内１７名、合計５９名

事業内容：７月に開催された市民討議会での意見集約をもとに、来年度のらぶ・ごしょがわら実行委員会での事業実現に向けて参加市民主体の企画立案を行った。

○ふるさと自慢わがまちＣＭ大賞

開 催 日：平成２７年１１月１５日（日）

開催場所：青森保健大学　講堂

参加員数：対外３００名、対内４名、合計３０４名

事業内容：五所川原のまつりである立佞武多を題材にしたＣＭを作成した。

か え り み て

今年度、当委員会は「市民が誇れるまち」をキーワードに、ＪＣ外部の人間とも密に関わりながら、他団体の活動にも参画しました。

市民討議会実委では、市役所・弘大の平井先生と連携し市民の地域参画の意識向上を目的に市民討議会と報告会を開催し市長報告を行いました。討議会アンケートでは「このような事業があればまた参加したい」と全回答でしたので、市民意識が向上したと考えております。

らぶごしょ実委では、市民会員とＪＣ会員が協力し市の発展に寄与する為、らぶごしょ探検隊・ごしょりん体操・パパハグ・らぶごしょ弁当・ＣＭ大賞の事業を行い、ごしょりん体操では「またあしたプロジェクト」とも連携しまちづくり事業を行いました。らぶごしょ探検隊では「普段できない体験」をコンセプトに実施し、アンケートでは「おもしろかった」と全回答でしたので、小学生の郷土愛が育まれたと考えております。ＣＭ大賞では市民会員が主導し数年ぶりの受賞から盛り上がり、市民会員の意識は向上しております。

今年度、初委員長を務め最初の委員会はひどい雰囲気でしたが、事業を重ねる度に私を始め委員の意識も高まり、まともな委員会風景になってきました。事業を通じ、また外部の人間の高い意識に触れる事で、当委員会が事業対象者よりも地域への参画意識が向上し、郷土愛が深まり成長できた事を協力下さった方に感謝します。

五所川原市民討議会

五所川原市民討議会報告会

後援：公益社団法人五所川原青年会議所
ふるさとの魅力再発見！
らぶ・ごしょがわら探検隊
日時：10/4日
先着各コース20名
参加者募集!!
対象：小学4～6年生
五所川原コース
らぶごしょクエスト
渡されたクエストマップをたよりに楽しく学びながら歩いて、より多くの目的地をクリアして景品をGETせよ！
金木コース
十二本ヤストレッキング
十二本ヤスと七ツ滝をめぐり、かなぎ元気村で昔遊び！金木の山をトレッキングし木や花の大自然とふれあい昔ながらの家で昔遊びをしてみんなで楽しい思い出を作ろう
市浦コース
十三湊ロマンクルーズ
中の島歴史民俗資料館を見学し中世の十三湊を知る。その後はしじみ取りをしておみやげに、そして十三湖を釣舟でクルーズ！中世の十三湊のロマンをイメージする

会員資質向上委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　高橋　美奈
委 員 長　　島村　豊次
副委員長　　平山　稔洋
委　　員　　平田ユキ子、平田　浩介、鎌田　智行、髙橋　尚裕、近藤　陽介、成田　若菜

基 本 方 針

我々、五所川原青年会議所は長きに渡り地域の明るい豊かな社会実現の為に活動して参りました。様々な運動をしていく中で会員同士が切磋琢磨し、信頼関係を構築して、地域活性化の為に日々奮闘し運動しなければなりません。そして市民意識変革団体として運動していく為には、我々ＪＡＹＣＥＥがこの地域の方々の旗手となり、会員一人ひとりの資質向上を行う事で、五所川原青年会議所全体の成長に繋げていかなければなりません。

今年度、当委員会の活動といたしましては、会員が新たな気づきを得られる定例会や、新入会員が青年会議所について学べる機会としてのセミナーを開催します。また、近年、五所川原青年会議所の記念事業が続き、会員同士の交流の場が少なくなっております。そこで今年は会員同士が楽しく交流ができる場として交流事業を開催いたします。これらの事業を行う事で「修練」「奉仕」「友情」という３信条の基礎を構築することができ、ＪＡＹＣＥＥとしての自覚を持って行動できるよう活動して参ります。

青年会議所は２０歳から４０歳までと限られた時間の中で活動しております。会員同士が互いを理解し、共に成長する事で五所川原青年会議所が地域からより必要とされる団体になれるよう、人材育成に取り組み一年間邁進して参ります。

事 業 報 告

○４月定例会「地域の為に我々が今学ぶべきこと！～東北ＪＣ宣言から学ぶ活動意義～」

開 催 日：平成２７年４月１６日（木）
開催場所：五所川原市中央公民館　３Ｆ視聴覚室
参加員数：講師１名、会員３３名、合計３４名
事業内容：東北ＪＣ宣言の策定担当者である松本光功先輩をお招きし、策定された当時の時代背景と想いを講演いただくことで青年会議所運動に携わるその意義を学んだ。

○ＯＢとの交流会

開 催 日：平成２７年６月１２日（金）
開催場所：五所川原市広田　市役所格納庫
参加員数：ＯＢ８名、会員２２名、合計３０名
事業内容：奥津軽虫と火まつりの製作作業を共に行い、まつりに対しての価値観を共有するとともに懇親を深めた。

〇会員交流会

開 催 日：平成２７年８月２６日（水）

開催場所：五所川原市中央公民館

参加員数：対外１名、会員２８名、合計２９名

事業内容：会員を複数のグループに振り分け、運動競技を通して会員間の交流と連帯感を高めました。

〇新入会員セミナー

開 催 日：平成２７年１１月２６日（金）

開催場所：五所川原商工会館

参加員数：講師１名、会員２７名、合計２８名

事業内容：青年会議所という全国組織の概要とその運動目的について理解を深めるとともに、五所川原青年会議所２００８年度理事長を務められた東慎治先輩を講師に迎えて、青年会議所で何を経験し考え学び、それらを現在に活かしているのかという講話をいただきました。

か え り み て

今年一年、会員資質向上委員会の委員長として委員の皆さんと共に活動して参りました。委員長として今年何を行っていいのかイメージがわきませんでした。委員会を何回も行っていく内に自分が何をしたいのか固まっていきました。４月定例会では講師にお越しいただき東北地区にしかない綱領文に込めた想いを勉強し、ＯＢ交流会ではシニアの方と一緒に松明を製作し先輩方が今まで築き上げてきた経験を現役会員に教えてもらいました。会員交流会では楽しい運動会をテーマに行い、みんなで楽しみ、親睦も深まった事業となりました。新入会員セミナーでは、青年会議所の会員として活動していく為に必要な知識を勉強してもらい、講師に東慎治先輩をお呼びし、地域の為に我々が行っている活動の素晴らしさなどを講話して下さいました。新入会員のみならず、我々も大変勉強になったセミナーとなりました。今回委員長職を与えてくれた佐藤理事長、毎回事業を行う度、沢山ご参加下さった会員の皆様ありがとうございました。又、委員会の方々の協力には感謝の気持ちでいっぱいです。今年一年間支えて下さりありがとうございました。

新 入 会 員 セ ミ ナ ー
JCI

会員拡大室

構 成 メ ン バ ー

室　　長　　荒関　晃介
担当理事　　佐々木篤史
拡大担当　　菊池　孝一、秋田　　純、芹川　　臣、原田美由紀、木村健太郎、鎌田　智行

基 本 方 針

我々五所川原青年会議所は長年の運動で数多くの事業を展開して参りました。一方で、運動を展開するために大切な会員の数が新入会員の減少により、年々減少傾向にあります。会員数の減少はこれからのＪＣ運動にも影響を及ぼすものであり、これに歯止めをかけるためにも会員一人ひとりが会員拡大の意義を自覚しなければなりません。そして会員が一丸となって「明るい豊かな社会」を目指す仲間を一人でも多く増やす必要があります。

今年度、当室では全会員で拡大に取り組み１０人以上の入会を目指します。そのために、拡大の必要性を伝える定例会を開催し、個々の意識高揚を図ります。また、会員拡大会議を開催し情報共有を行うと共に、会員と未来の仲間との関係を可視化し、全会員が拡大についての情報を共有できるツールを作製致します。そして、これを基に会員一人ひとりが会員拡大に努める「一人一カ所運動」を行います。更には、今年度も異業種交流会を行い青年会議所の魅力を伝えると共に会員拡大に努めます。

全会員が一丸となって拡大運動を行い、共に歩んでいく仲間が一人でも多くなることが五所川原青年会議所の未来に繋がり、そしてこれは「明るい豊かな社会」へ続くものと信じています。そのためにも当室では、これを実現するために一年間邁進して参ります。

事 業 報 告

○３月定例会「会員拡大の重要性を学ぼう」

開 催 日：平成２７年３月２４日（火）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員２２名
事業内容：会員数の減少は青年会議所運動の低下に直結しうることを理解し、会員拡大の必要性を共有しながら拡大運動への行動について話し合い、意識高揚を図った。

○第一回会員拡大会議

開 催 日：平成２７年４月７日（火）
開催場所：養老乃瀧五所川原店
参加員数：会員１８名
事業内容：現在ある会員候補者名簿をメンバーの情報により修正し、メンバーと候補者との関係情報を集約した会員拡大を行うためのツールを製作した。

○異業種交流会

開 催 日：平成２７年５月１５日（金）
開催場所：イズミボーリングセンター
参加員数：対外２６名、会員３０名、合計５６名
事業内容：現在の会員候補者の方々とスポーツのボーリングを通じて交流を図り、会員拡大への契機とした。

○若手ビジネスウーマン交流会

開 催 日：平成２７年７月１４日（火）
開催場所：五所川原市　串bar粋々
参加員数：対外６名、会員９名、合計１５名
事業内容：女性会員の拡大を目的として、地域で生業を立てている女性の方々と交流を図り、繋がりを作った。

○新入会員による異業種交流会

開 催 日：平成２７年１１月３０日（月）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：対外３４名、会員２２名、合計５６名
事業内容：五所川原青年会議所の会員増加を目的として、入会候補者の方々を招待して交流を図った。また、当該事業の企画運営を新入会員に担当していただいたことで、会員間、とりわけ新入会員間の連帯感が増大した。

か え り み て

「あっくんを漢（オトコ）にする！」荒関室長の意気込みで始まった二人三脚の拡大室。会員拡大をほとんどやったことが無い私がどのように行うべきか？期待と不安で始まった１年でしたがメンバーの皆様の協力のおかげで例会や異業種交流会等様々なことに挑戦させてもらうことができました。
拡大運動を始めるにあたり何が必要であると考え、入会人数を設定することにはこだわらず、一つ目にメンバー全員に拡大運動を経験してもらうこと。二つ目に拡大を通してメンバーの団結力を高めてもらいたいということを念頭に、今回は「一人一か所運動」を目標に一年間奮闘して参りました。結果として、これに賛同して頂いたメンバーのおかげで多くの新入会員を迎え入れることができたと感謝しております。

また、異業種交流会を今年はボウリング・女子会・新入会員企画の３種類を挑戦させて頂き、これもまたメンバーの協力により無事開催することができました。

最後に、様々な意見を下さいました理事の皆様、快く協力頂いた拡大担当の皆様、忙しい中拡大に協力頂いたメンバーの皆様本当にありがとうございました。そして私を漢にすると一年間奮闘して頂いた荒関室長には感謝と御礼を申し上げます。

公益社団法人 五所川原青年会議所 ２０１５年度 ３月定例会
会員拡大の重要性を学ぼう
JCI
GOSHOGAWARA

若手ビジネスウーマン
交　流　会

公益社団法人　五所川原青年会議所
２０１５年度異業種交流会

公益社団法人 五所川原青年会議所 2015年度　収支決算書

2015年1月1日～2015年12月31日
（単位 円）

科　　目	2015年度決算	2015年度当初予算	差異	備　　考
Ⅰ 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	501	1,200	△ 699	通帳利息
②特定資産運用収入	407	0	407	通帳利息
③入会金収入	300,000	0	300,000	新入会員　￥25000×12名（案）
④会費収入	6,070,000	5,760,000	310,000	
正会員会費収入	5,160,000	5,160,000	0	￥120000×43名
新加入会員会費収入	550,000	0	550,000	
特別会員会費収入	360,000	600,000	△ 240,000	￥120000×3名（2014年度卒業生）
賛助会員会費収入	0	0	0	￥10,000×0社
⑤事業収入	4,584,000	4,400,000	184,000	
登録料収入	629,000	500,000	129,000	
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	3,955,000	3,900,000	55,000	
業務受託収入	0	0	0	
預り金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
⑥補助金等収入	587,300	50,000	537,300	
受取民間補助金収入	87,300	50,000	37,300	
受取地方公共団体助成金	500,000	0	500,000	
受取民間助成金収入	0	0	0	
⑦寄付金収入	15,671	30,000	△ 14,329	
受取寄付金収入	15,671	30,000	△ 14,329	虫と火まつり募金
⑧雑収入	281,589	1,228,545	△ 946,956	
受取利息収入	258	1,500	△ 1,242	
その他雑収入	281,331	1,227,045	△ 945,714	
事業活動収入計	11,839,468	11,469,745	369,723	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	7,242,246	6,814,000	428,246	
総務情報発信委員会	309,473	392,000	△ 82,527	
青少年育成委員会	2,173,056	1,743,000	430,056	
まつり継承発信委員会	3,937,389	3,761,000	176,389	
市民運動促進委員会	647,130	647,000	130	
会員資質向上委員会	110,972	151,000	△ 40,028	
会員拡大室	64,226	120,000	△ 55,774	
公益特別室	0	0	0	
50周年特別室	0	0	0	
事業会計支出	0	0	0	
②管理費	3,771,206	3,270,756	500,450	
給与手当	1,010,100	1,310,400	△ 300,300	
退職給付費用	36,000	36,000	0	
福利厚生費	81,057	20,000	61,057	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	20,000	△ 20,000	
通信運搬費	211,809	272,000	△ 60,191	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	66,526	100,000	△ 33,474	
会員支給品費	38,164	20,000	18,164	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	523,691	320,000	203,691	コピー機パフォーマンス
燃料費	0	0	0	
水道光熱費	103,363	100,000	3,363	
貸借料	687,114	562,356	124,758	
保険料	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	1,550	0	1,550	
渉外費	378,418	250,000	128,418	慶弔費、諸会費、渉外費（お祝いお酒）
委託費	436,864	120,000	316,864	会計処理委託
減価償却費	28,916	40,000	△ 11,084	
衛生費	0	0	0	
支払負担金	0	0	0	
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
雑費	167,634	100,000	67,634	
③負担金	1,205,425	974,573	230,852	
国際青年会議所負担金	69,300	53,298	16,002	
日本青年会議所負担金	898,500	694,500	204,000	日本・地区・ブロック基本負担金＆出向者負担金
国際協力資金	100,375	85,775	14,600	
We Believe購読料	137,250	141,000	△ 3,750	
事業活動支出計	12,218,877	11,059,329	1,159,548	
事業活動収支差額	△ 379,409	410,416	△ 789,825	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	36,000	△ 36,000	
①特定資産取得支出	0	36,000	△ 36,000	
退職給付引当資産取得支出	0	36,000	△ 36,000	
②固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	36,000	△ 36,000	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財政活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 379,409	374,416	△ 753,825	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

2015年度 公益社団法人 五所川原青年会議所 正味財産増減決算書内訳表
2015年1月1日から2015年12月31日まで

（単位　円）

科目名	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計
	地域青少年育成事業	虫と火まつり継続事業	地域の健全な発展	共通	小計	会員交流親睦事業	会員拡大・研修事業	JC発信運動事業	共通	小計			
	公1	公2	公3			他1	他2	他3					
Ⅰ　一般正味財産増減の部													
1．経常増減の部													
（1）経常収益													
①基本財産運用益	**0**	**0**	**0**	**501**	**501**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**501**
基本財産受取利息	0	0	0	501	501	0	0	0	0	0	0	0	501
①特定資産運用益	**0**	**0**	**0**	**135**	**135**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**272**	**0**	**407**
特定資産受取利息	0	0	0	135	135	0	0	0	0	0	272	0	407
特定資産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取賃貸料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②受取入会金	**0**	**0**	**0**	**90,000**	**90,000**	**0**	**0**	**0**	**90,000**	**90,000**	**120,000**	**0**	**300,000**
受取入会金	0	0	0	90,000	90,000	0	0	0	90,000	90,000	120,000	0	300,000
③受取会費	**0**	**0**	**0**	**1,821,000**	**1,821,000**	**0**	**0**	**0**	**1,821,000**	**1,821,000**	**2,428,000**	**0**	**6,070,000**
正会員会費	0	0	0	1,548,000	1,548,000	0	0	0	1,548,000	1,548,000	2,064,000	0	5,160,000
特別会員会費	0	0	0	108,000	108,000	0	0	0	108,000	108,000	144,000	0	360,000
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新入会員会費	0	0	0	165,000	165,000	0	0	0	165,000	165,000	220,000	0	550,000
④事業収益	**765,000**	**3,819,000**	**0**	**0**	**4,584,000**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**4,584,000**
登録料収益	620,000	9,000	0	0	629,000	0	0	0	0	0	0	0	629,000
懇親会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告料収益	145,000	3,810,000	0	0	3,955,000	0	0	0	0	0	0	0	3,955,000
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局受託収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤受取補助金等	**500,000**	**27,300**	**0**	**0**	**527,300**	**0**	**60,000**	**0**	**0**	**60,000**	**0**	**0**	**587,300**
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	27,300	0	0	27,300	0	60,000	0	0	60,000	0	0	87,300
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	500,000	0	0	0	500,000	0	0	0	0	0	0	0	500,000
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥受取負担金	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦受取寄付金	**0**	**15,671**	**0**	**0**	**15,671**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**15,671**
受取寄付金	0	15,671	0	0	15,671	0	0	0	0	0	0	0	15,671
募金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧雑収益	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**281,589**	**0**	**281,589**
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258	0	258
有価証券運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	281,331	0	281,331
経常収益計	**1,265,000**	**3,861,971**	**0**	**1,911,636**	**7,038,607**	**0**	**60,000**	**0**	**1,911,000**	**1,971,000**	**2,829,861**	**0**	**11,839,468**
（2）経常費用													
①事業費	**2,173,056**	**3,937,389**	**579,462**	**1,608,283**	**8,298,190**	**410,079**	**142,260**	**0**	**964,970**	**1,517,309**	**0**	**0**	**9,815,499**
事業費													
1　給料手当	0	0	0	505,050	505,050	0	0	0	303,030	303,030	0	0	808,080
2　退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3　福利厚生費	0	0	0	40,529	40,529	0	0	0	24,317	24,317	0	0	64,846
4　会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5　旅費交通費	525,090	800	0	0	525,890	0	0	0	0	0	0	0	525,890
6　通信運搬費	28,286	74,648	0	105,905	208,839	48,123	12,566	0	63,543	124,232	0	0	333,070
7　消耗什器備品費	0	19,600	0	0	19,600	1,565	0	0	0	1,565	0	0	21,165
8　消耗品費	164,524	820,308	0	33,263	1,018,095	4,560	4,410	0	19,958	28,928	0	0	1,047,023
9　会員支給品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10　修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11　印刷製本費	40,510	120,900	0	261,846	423,256	37,330	11,170	0	157,107	205,607	0	0	628,863
12　減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13　燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14　光熱水料費	0	0	0	51,682	51,682	0	0	0	31,009	31,009	0	0	82,690
15　賃借料	32,712	115,871	0	343,557	492,140	74,880	7,380	0	206,134	288,394	0	0	780,534
16　保険料	45,668	176,650	0	0	222,318	3,000	0	0	0	3,000	0	0	225,318
17　諸謝金	58,408	200,000	0	0	258,408	0	36,886	0	0	36,886	0	0	295,294
18　租税公課	2,800	6,800	0	0	9,600	200	200	0	0	400	0	0	10,000
19　渉外費	0	0	0	0	0	3,000	3,000	0	0	6,000	0	0	6,000
20　委託費	710,530	1,963,148	0	218,432	2,892,110	105,800	6,000	0	131,059	242,859	0	0	3,134,969
21　支払寄付金	0	0	579,462	0	579,462	0	60,000	0	0	60,000	0	0	639,462
22　衛生費	0	211,806	0	0	211,806	0	0	0	0	0	0	0	211,806
23　雑費	537,863	194,858	0	48,021	780,742	131,621	648	0	28,813	161,082	0	0	941,824
23　支払負担金	26,665	32,000	0	0	58,665	0	0	0	0	0	0	0	58,665
②管理費											**2,403,378**	**0**	**2,403,378**
1　給料手当											202,020	0	202,020
2　退職給付費用											36,000	0	36,000
3　福利厚生費											16,211	0	16,211
4　会議費											0	0	0
5　旅費交通費											0	0	0
6　通信運搬費											42,362	0	42,362
7　消耗什器備品費											0	0	0
8　消耗品費											13,305	0	13,305
9　会員支給品費											38,164	0	38,164

10	修繕費										0	0	0
11	印刷製本費										104,738	0	104,738
12	減価償却費										28,916	0	28,916
13	燃料費										0	0	0
14	光熱水料費										20,673	0	20,673
15	賃借料										137,423	0	137,423
16	保険料										0	0	0
17	諸謝金										0	0	0
18	租税公課										1,550	0	1,550
19	渉外費										378,418	0	378,418
20	委託費										87,373	0	87,373
21	記念品費										0	0	0
22	衛生費										0	0	0
23	雑費										90,800	0	90,800
24	支払負担金										1,205,425	0	1,205,425
25	日本青年会議所負担金										898,500	0	898,500
26	国際協力資金										100,375	0	100,375
	国際青年会議所負担金										69,300	0	69,300
27	We Believe購読料										137,250	0	137,250
	経常費用計	**2,173,056**	**3,937,389**	**579,462**	**1,608,283**	**8,298,190**	**410,079**	**142,260**	**0**	**964,970**	**1,517,309**	**2,403,378**	**0**	**12,218,877**
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 908,056	△ 75,418	△ 579,462	303,353	△ 1,259,583	△ 410,079	△ 82,260	0	946,030	453,691	426,483	0	△ 379,409
	①基本財産評価損益等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	②特定資産評価損益等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	③投資有価証券評価損益等	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	評価損益等計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	当期経常増減額	**△ 908,056**	**△ 75,418**	**△ 579,462**	**303,353**	**△ 1,259,583**	**△ 410,079**	**△ 82,260**	**0**	**946,030**	**453,691**	**426,483**	**0**	**△ 379,409**
2. 経常外増減の部														
(1)経常外収益														
①固定資産売却益		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
建物売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②固定資産受贈益		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
土地受贈益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③雑収入		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1,221,321**	**0**	**1,221,321**
雑収入		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,221,321	0	1,221,321
経常外収益計		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
(2)経常外費用														
①固定資産売却損		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
建物売却損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②固定資産除却損		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
土地減損損失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券減損損失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③災害損失		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
災害損失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④雑損失		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1,221,321**	**0**	**1,221,321**
雑損失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,221,321	0	1,221,321
経常外費用計		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 908,056	△ 75,418	△ 579,462	303,353	△ 1,259,583	△ 410,079	△ 82,260	0	946,030	453,691	426,483	0	△ 379,409
一般正味財産期首残高		**0**	**0**	**0**	**6,990,397**	**6,990,397**	**0**	**0**	**0**	**3,797,015**	**3,797,015**	**8,651,437**	**0**	**19,438,849**
一般正味財産期末残高		**△ 908,056**	**△ 75,418**	**△ 579,462**	**7,293,750**	**5,730,814**	**△ 410,079**	**△ 82,260**	**0**	**4,743,045**	**4,250,706**	**9,077,920**	**0**	19,059,440
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
①受取補助金等		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
受取国庫補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②受取負担金		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
受取負担金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③受取寄付金		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
受取寄付金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④固定資産受贈益		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
土地受贈益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤基本財産評価益		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
基本財産評価益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥特定資産評価益		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
特定資産評価益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦基本財産評価損		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
基本財産評価損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧特定資産評価損		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
特定資産評価損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨一般正味財産への振替額		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
一般正味財産への振替額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
指定正味財産期末残高		**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
Ⅲ 正味財産期末残高		**△ 908,056**	**△ 75,418**	**△ 579,462**	**7,293,750**	**5,730,814**	**△ 410,079**	**△ 82,260**	**0**	**4,743,045**	**4,250,706**	**9,077,920**	**0**	**19,059,440**

公益社団法人五所川原青年会議所 2015年度 正味財産増減計算書
2015年1月1日から2015年12月31日まで

（単位 円）

科目	当年度	前年度	増減	備考
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①特定資産運用益	**501**	**550**	**△ 49**	
特定資産受取利息	501	550	△ 49	
②特定資産運用益	**407**	**886**	**△ 479**	
特定資産受取利息	407	886	△ 479	
特定資産受取配当金	0	0	0	
特定資産受取賃貸料	0	0	0	
③受取入会金	**300,000**	**175,000**	**125,000**	
受取入会金	300,000	175,000	125,000	
④受取会費	**6,070,000**	**6,410,000**	**△ 340,000**	
正会員会費	5,160,000	5,400,000	△ 240,000	
特別会員会費	360,000	720,000	△ 360,000	
賛助会員会費	0	0	0	
新入会員会費	550,000	290,000	260,000	
⑤事業収益	**4,584,000**	**4,389,000**	**195,000**	
登録料収益	629,000	636,000	△ 7,000	
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	3,955,000	3,753,000	202,000	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
⑥受取補助金等	**587,300**	**741,900**	**△ 154,600**	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取民間補助金	87,300	60,000	27,300	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	500,000	649,000	△ 149,000	
受取民間助成金	0	32,900	△ 32,900	
受取補助金等振替額	0		0	
⑦受取負担金	**0**	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
⑧受取寄付金	**15,671**	**24,052**	**△ 8,381**	
受取寄付金	15,671	24,052	△ 8,381	
募金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	
⑨雑収益	**281,589**	**425,564**	**△ 143,975**	
受取利息	258	267	△ 9	
有価証券運用益	0	0	0	
雑収益	281,331	425,297	△ 143,966	
経常収益計	**11,839,468**	**12,166,952**	**△ 327,484**	
(2)経常費用				
①事業費	**9,815,499**	**12,223,577**	**△ 2,408,078**	
事業費				
1 給料手当	808,080	760,042	48,038	
2 退職給付費用	0	28,800	△ 28,800	
3 福利厚生費	64,846	59,806	5,040	
4 会議費	0	0	0	
5 旅費交通費	525,890	531,600	△ 5,710	
6 通信運搬費	333,070	390,376	△ 57,306	
7 消耗什器備品費	21,165	52,713	△ 31,548	
8 消耗品費	1,047,023	1,278,439	△ 231,416	
9 会員支給品費	0	0	0	
10 修繕費	0	0	0	
11 印刷製本費	628,863	502,301	126,562	
12 減価償却費	0	0	0	
13 燃料費	0	35,199	△ 35,199	
14 光熱水料費	82,690	76,330	6,360	
15 賃借料	780,534	985,129	△ 204,595	
16 保険料	225,318	262,926	△ 37,608	
17 諸謝金	295,294	268,410	26,884	
18 租税公課	10,000	9,600	400	
19 渉外費	6,000	6,000	0	
20 委託費	3,134,969	5,263,472	△ 2,128,503	
21 支払寄付金	639,462	39,448	600,014	
22 衛生費	211,806	681,648	△ 469,842	
23 雑費	941,824	229,541	712,283	
24 支払負担金	58,665	761,797	△ 703,132	

	②管理費	**2,403,378**	**2,020,465**	**382,913**	
1	給料手当	202,020	190,011	12,009	
2	退職給付費用	36,000	7,200	28,800	
3	福利厚生費	16,211	14,951	1,260	
4	会議費	0	0	0	
5	旅費交通費	0	0	0	
6	通信運搬費	42,362	38,832	3,530	
7	消耗什器備品費	0	73,872	△ 73,872	
8	消耗品費	13,305	28,107	△ 14,802	
9	会員支給品費	38,164	40,758	△ 2,594	
10	修繕費	0	0	0	
11	印刷製本費	104,738	75,070	29,668	
12	減価償却費	28,916	38,555	△ 9,639	
13	燃料費	0	0	0	
14	光熱水料費	20,673	19,082	1,591	
15	賃借料	137,423	123,650	13,773	
16	保険料	0	0	0	
17	諸謝金	0	0	0	
18	租税公課	1,550	2,450	△ 900	
19	渉外費	378,418	186,328	192,090	
20	委託費	87,373	81,013	6,360	
21	記念品費	0	1,000	△ 1,000	
22	衛生費	0	0	0	
23	雑費	90,800	78,109	12,691	
24	支払負担金	1,205,425	1,021,477	183,948	
25	日本青年会議所負担金	898,500	707,650	190,850	
26	国際協力資金	100,375	100,375	0	
27	国際青年会議所負担金	69,300	49,060	20,240	
28	We Believe購読料	137,250	148,250	△ 11,000	
	経常費用計	**12,218,877**	**14,244,042**	**△ 2,025,165**	
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 379,409	△ 2,077,090	1,697,681	
	①基本財産評価損益等	**0**	**0**	**0**	
	②特定資産評価損益等	**0**	**0**	**0**	
	③投資有価証券評価損益等	**0**	**0**	**0**	
	評価損益等計	**0**	**0**	**0**	
	当期経常増減額	**△ 379,409**	**△ 2,077,090**	**1,697,681**	
2. 経常外増減の部					
	(1)経常外収益				
	①固定資産売却益	**0**	**0**	**0**	
	建物売却益	0	0	0	
	車両運搬具売却益	0	0	0	
	什器備品売却益	0	0	0	
	土地売却益	0	0	0	
	借地権売却益	0	0	0	
	電話加入権売却益	0	0	0	
	②固定資産受贈益	**0**	**0**	**0**	
	土地受贈益	0	0	0	
	投資有価証券受贈益	0	0	0	
	③雑収入	**1,221,321**	**6,626,108**	**△ 5,404,787**	
	雑収入	1,221,321	6,626,108	△ 5,404,787	
	経常外収益計	**1,221,321**	**6,626,108**	**△ 5,404,787**	
	(2)経常外費用				
	①固定資産売却損	**0**	**0**	**0**	
	建物売却損	0	0	0	
	車両運搬具売却損	0	0	0	
	什器備品売却損	0	0	0	
	土地売却損	0	0	0	
	借地権売却損	0	0	0	
	電話加入権売却損	0	0	0	
	②固定資産除却損	**0**	**0**	**0**	
	土地減損損失	0	0	0	
	投資有価証券減損損失	0	0	0	
	③災害損失	**0**	**0**	**0**	
	災害損失	0	0	0	
	④雑損失	**1,221,321**	**6,626,108**	**△ 5,404,787**	
	雑損失	1,221,321	6,626,108	△ 5,404,787	
	経常外費用計	**1,221,321**	**6,626,108**	**△ 5,404,787**	
	当期経常外増減額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	△ 379,409	△ 2,077,090	1,697,681	
	一般正味財産期首残高	**19,438,849**	**21,515,939**	**△ 2,077,090**	
	一般正味財産期末残高	**19,059,440**	**19,438,849**	**△ 379,409**	

Ⅱ　指定正味財産増減の部				
①受取補助金等	**0**	**0**	**0**	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取民間補助金	0	0	0	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
②受取負担金	**0**	**0**	**0**	
受取負担金	0	0	0	
③受取寄付金	**0**	**0**	**0**	
受取寄付金	0	0	0	
④固定資産受贈益	**0**	**0**	**0**	
土地受贈益	0	0	0	
投資有価証券受贈益	0	0	0	
⑤基本財産評価益	**0**	**0**	**0**	
基本財産評価益	0	0	0	
⑥特定資産評価益	**0**	**0**	**0**	
特定資産評価益	0	0	0	
⑦基本財産評価損	**0**	**0**	**0**	
基本財産評価損	0	0	0	
⑧特定資産評価損	**0**	**0**	**0**	
特定資産評価損	0	0	0	
⑨一般正味財産への振替額	**0**	**0**	**0**	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	**0**	**0**	**0**	
指定正味財産期末残高	**0**	**0**	**0**	
Ⅲ　正味財産期末残高	**19,059,440**	**19,438,849**	**△ 379,409**	

公益社団法人 五所川原青年会議所
2015年度 貸借対照表

2015年12月31日現在

単位(円)

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,884,508	488,027	1,396,481
未収会費	145,000	240,000	△ 95,000
未収金	500,000	7,275,108	△ 6,775,108
立替金	15,598	82	15,516
仮払金	0	0	0
流動資産合計	**2,545,106**	**8,003,217**	**△ 5,458,111**
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期積立金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産合計	**3,000,000**	**0**	**3,000,000**
(2)特定資産			
退職給付引当資産	51,004	15,000	
まつり事業準備資金	1,217,091	957,766	259,325
事業実施積立金	2,829,341	598	2,828,743
特定資産合計	**4,097,436**	**973,364**	**3,088,068**
その他固定資産			
什器備品	86,749	115,665	△ 28,916
敷金(五所川原商工会議所保証金)	11,000,000	11,000,000	0
その他固定資産合計	**11,086,749**	**11,115,665**	△ 28,916
固定資産合計	**18,184,185**	**12,089,029**	**6,095,156**
資　産　合　計	**20,729,291**	**20,092,246**	**637,045**
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	235,047	360,875	△ 125,828
前受金	1,320,000	240,000	1,080,000
預り金	63,804	37,522	26,282
流動負債合計	1,618,851	638,397	980,454
2. 固定負債			
退職給付引当金	51,000	15,000	36,000
固定負債合計	51,000	15,000	36,000
負債合計	**1,669,851**	**653,397**	**1,016,454**
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	**19,059,440**	**19,438,849**	**637,045**
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	0	(0)
(うち特定資産への充当額)		0	**0**
正　味　財　産　合　計	**19,059,440**	**19,438,849**	**637,045**
負 債 お よ び 正 味 財 産 合 計	**20,729,291**	**20,092,246**	**637,045**

公益社団法人 五所川原青年会議所
2015年度 貸借対照表内訳表

2015年12月31日現在

単位(円)

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	1,884,508	0	1,884,508
未収会費	43,500	43,500	58,000	0	145,000
未収金	500,000	0	0	0	500,000
立替金	0	0	15,598	0	15,598
仮払金	0	0	0	0	0
他会計貸付金	0	0	0	0	0
流動資産合計	**543,500**	**43,500**	**1,958,106**	**0**	**2,545,106**
2. 固定資産					
(1)基本財産					
定期積立金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
基本財産合計	**3,000,000**	**0**	**0**	**0**	**3,000,000**
(2)特定資産					
退職給付引当資産	0	0	51,004		51,004
まつり事業準備資金	1,217,091	0	0	0	1,217,091
事業実施積立金	0	0	2,829,341	0	2,829,341
特定資産合計	**1,217,091**	**0**	**2,880,345**	**0**	**4,097,436**
その他固定資産					
什器備品	0	0	86,749	0	86,749
敷金	5,500,000	4,400,000	1,100,000	0	11,000,000
その他固定資産合計	**5,500,000**	**4,400,000**	**1,186,749**	**0**	**11,086,749**
固定資産合計	**9,717,091**	**4,400,000**	**4,067,094**	**0**	**18,184,185**
資　産　合　計	**10,260,591**	**4,443,500**	**6,025,200**	**0**	**20,729,291**
Ⅱ 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	125,264	101,678	8,105	0	235,047
前受金	396,000	396,000	528,000	0	1,320,000
預り金	1,902	1,141	60,761	0	63,804
他会計区分借入金	0	0	0	0	0
流動負債合計	523,166	498,819	596,866	0	1,618,851
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	51,000	0	51,000
固定負債合計	0	0	51,000	0	51,000
負債合計	523,166	498,819	647,866	0	1,669,851
Ⅲ 正味財産の部					
1. 指定正味財産	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	9,737,425	3,944,681	5,377,334	0	19,059,440
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)					(
正　味　財　産　合　計	**9,737,425**	**3,944,681**	**5,377,334**	**0**	**19,059,440**
負債および正味財産合計	**10,260,591**	**4,443,500**	**6,025,200**	**0**	**20,729,291**

公益社団法人 五所川原青年会議所
2015年度 財産目録
2015年12月31日現在

単位(円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）			
現金	手元保管	運転資金として	¥23,486
預金	青森銀行 五所川原支店 普通預金 417389	運転資金として	¥658,212
	みちのく銀行 五所川原支店 普通預金 1522949	運転資金として	¥939,577
	青い森信用金庫 五所川原支店 普通預金 287063	運転資金として	¥263,233
立替金	正会員	八戸全国大会登録料	¥15,000
立替金	事務局員	源泉所得税	¥598
未収入会費	正会員	2015年度年会費	¥145,000
未収入金	青森県	ソフト事業助成金	¥500,000
流動資産合計			¥2,545,106
（固定資産）			
1:基本財産			
定期積立金	青森銀行 五所川原支店 定期預金 3078293	公益目的保有財産として、運用益を公益目的事業に使用している。	¥3,000,000
2:特定資産			
退職給付引当資産	青い森信用金庫 五所川原支店 普通預金 455341	退職給付を支払う為の特定預金	¥51,004
	青森銀行 五所川原支店 普通預金 1106610	奥津軽虫と火まつり事業実施の為の資金として保有している。	¥1,217,091
事業実施積立金	青森銀行 五所川原支店 普通預金 450259	事業実施の為に保有している。	¥2,829,341
3:その他固定資産			
什器備品	事務局	トランシーバー	¥86,749
敷金	五所川原商工会議所	五所川原商工会議所保証金（供用財産）	¥11,000,000
固定資産合計			¥18,184,185
資産合計			¥20,729,291
（流動負債）			
未払金	五所川原商工会議所	11月・12月電気使用料金	¥15,902
未払金	ヒラカワ事務器	11月・12月分パフォーマンス料	¥24,626
未払金		2015年度事業費	¥194,519
前受金		2016年度会員年会費	¥1,320,000
預り登録料		2016年度ブロック大会登録料	¥60,000
預り金		雇用保険料	¥3,804
流動負債合計			¥1,618,851
（固定負債）			
退職給付金		退職給付金準備金	¥51,000
固定負債合計			¥51,000
負債合計			¥1,669,851
正味財産			¥19,059,440

附属明細書

法人名:公益社団法人　五所川原青年会議所
事業名:事業全体

1.重要な固定資産の明細

（単位:円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	基本財産	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産	退職給付引当資産	15,000	36,000	0	51,000
	まつり事業準備資金	957,766	259,325	0	1,217,091
	事業実施積立金	598	2,828,743	0	2,829,341
その他の固定資産	五所川原商工会議所会館保証金	11,000,000	0	0	11,000,000

2.引当金の明細

（単位:円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	15,000	36,000	0	0	51,004

＊退職給付引当金については、3000円/月を積み立てている。

財務諸表に対する注記

平成27年1月1日から平成27年12月31日(決算)まで

法人名:公益社団法人　五所川原青年会議所
事業名:事業全体

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針
（1）有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

（2）棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

（3）固定資産の原価償却の方法

定率法にて実施している。

（4）引当金の計上基準

退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため内規に基づく要支給額を計上している。

（5）キャッシュフロー計算書における資金範囲

キャッシュフロー計算書は認定法第5条第12号の規定により省略している。

(6)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

2011年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)
を適用している。

4.基本財産及び特定資産の増額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

（単位:円）

科目	前期期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
基本財産				
基本財産	0	3,000,000	－	3,000,000
小計	0	3,000,000	－	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	15,000	36,000	－	51,000
まつり事業準備資金	957,766	259,325	－	1,217,091
事業実施積立金	598	2,828,743	－	2,829,341
小　計	973,364	3,124,068	－	4,097,432
合　計	973,364	6,124,068	－	7,097,432

5.基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産から充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産	3,000,000		－	
小計	3,000,000	－	0	－
特定資産				
退職給付引当資産	51,004		－	
まつり事業準備資金	1,217,091		－	
事業実施積立金	2,829,341		－	
小　計	4,097,436	－	0	－
合　計	7,097,436	－	0	－

6.担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価格、原価償却累計額及び当期末残高は下記のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価格	当期首残高	減価償却累計額	当期末残高
什器備品				
トランシーバー	336,000	115,665	28,916	86,749
小　計	336,000	115,665	28,916	86,749
合　計	336,000	115,665	28,916	86,749

8.債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権当期末残高

該当なし

9.保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

10.満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

11.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少高	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
虫と火まつり助成金	五所川原神明宮	0	27,300	27,300	0	
CM大賞出品作品制作費	五所川原市観光協会	0	60,000	60,000	0	
ソフト事業助成金	青森県	500,000	500,000	500,000	500,000	
つがる西北五広域連合補助金	つがる西北五広域連合	149,000	－	149,000	0	
合　計		**649,000**	**587,300**	**736,300**	**500,000**	

12. 基金及び代替基金の増減及びその残高

該当なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

14. 関連当時者との取引の内容

該当なし

15. キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金引取

該当なし

16. 重要な後発事象

なし

17. その他

なし

監　査　報　告　書

２０１６年2月４日
公益社団法人五所川原青年会議所

公益社団法人　五所川原青年会議所
理事長　　佐藤　昭義　　殿

監　事　松野 健　印
監　事　坂本興平　印

私達は、２０１５年1月１日から２０１５年１２月３１日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告いたします。

1.　監査方法及び概要

（１）会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正確性を検討した。

（２）業務監査について、理事会及びその他会議に出席し、理事から業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

２．監査意見

（１）収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録・会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。

（２）事業報告内容は真実であると認められる。

（３）理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

２０１５年度庶務報告

《入会者》

工　藤　智　哉　　（５月入会）
小　野　顕　成　　（５月入会）
髙　橋　尚　裕　　（５月入会）
大坂谷　　努　　（７月入会）
齋　藤　直飛人　　（７月入会）
外　﨑　　紳　　（９月入会）
坂　本　　光　　（９月入会）
小笠原　崇　文　　（９月入会）
豊　澤　孝　行　　（９月入会）
吉　田　博　貴　　（１２月入会）
近　藤　陽　介　　（１２月入会）
成　田　若　菜　　（１２月入会）

《卒業者》

境　谷　一　智　　（平成１６年入会）
神　成　修太郎　　（平成２０年入会）
荒　関　晃　介　　（平成２１年入会）
工　藤　晃　史　　（平成２５年入会）
工　藤　　誠　　（平成２５年入会）
乗　田　正　純　　（平成２６年入会）
長谷川　泰　典　　（平成２６年入会）
齋　藤　直飛人　　（平成２７年入会）

◇ＪＣ功労賞　　境谷　一智、神成修太郎、荒関　晃介、工藤　晃史
工藤　　誠、乗田　正純、長谷川泰典、齋藤直飛人

◇新人賞　　平山　稔洋

◇最優秀委員会賞　　市民運動促進委員会

◇理事長賞　　佐々木篤史、高橋　美奈、島村　豊次

◇優秀ＪＣ賞　　中西　宗興、上見　一嘉

◇最優秀ＪＣ賞　　菊池　孝一、平田ユキ子

事務局備品目録

１．事　務　用　机	７個	２４．傘　立　て	１台
２．事　務　用　椅　子	４個	２５．テーブルワゴン	１台
３．スチール書庫	２個	２６．会員名簿掲示板	１式
４．スチール引き出し	４個	２７．アタッシュケース	１個
５．キャビネット	２個	２８．プロジェクター	１台
６．ホワイトボード	１台	２９．スクリーン	１台
７．ＪＣゴング	２個	３０．電子レンジ	１台
８．ＪＣ名札入れ	１台	３１．裁　断　機	１台
９．Ｊ　Ｃ　旗	１旗	３２．プリンター	１台
１０．応　接　椅　子	６個	３３．スキャナー	１台
１１．書　類　ケ　ー　ス	９個	３４．クーラーボックス	１個
１２．ボイスレコーダー	２台	３５．傘	２７本
１３．食　器　棚	１個	３６．ハロゲンヒーター	１台
１４．冷　蔵　庫	１台	３７．ラ　ン　タ　ン	１個
１５．金　庫	１台	３８．ＣＤプレーヤー	１台
１６．時　計	１個	３９．プレジデンシャルリース	１式
１７．鉛　筆　削　り	１個	４０．ＪＣＩ演台看板	１台
１８．電子計算機	２台	４１．トランシーバー	７組
１９．印　鑑	１式	４２．国　旗　大	１旗
２０．スチームアイロン	１個	４３．国　旗　小	１旗
２１．救　急　箱	２個	４４．会議用テーブル	１台
２２．電　話　機	１台	４５．会　議　用　椅　子	９台
２３．パ　ソ　コ　ン	１台		

２０１５年度行事一覧

月 日	行　　事	場　　所
１月		
６日	１４：第１４回理事会／１５：第１回　理事会	
１１日	新年祝賀会	ホテルサンルート五所川原
１３日	悠々会	ホテルサンルート五所川原
１９日	まつり部会長会議	
２１日	第２回三役会	
２３日	京都会議　～２５日	
２６日	１４：第５回臨時理事会	
２７日	らぶ・ごしょがわら総会・第１回実行委員会	中央公民館
２月		
２０日	第２回理事会／知事表敬訪問	
２４日	第２回らぶごしょ実行委員会	学習情報センター
２５日	説明会	プラザマリュウ五所川原
２６日	三役会	事務局
３月		
２日	１４：第６回臨時理事会／１５：第３回理事会	
３日	基金説明会	中央公民館
５日	第５回市民運動促進委員会／財務・事務会議	
	資質向上委員会	
９日	１４：第７回臨時理事会	
１２日	財務打ち込み	
１３日	公益特別室	事務局
１６日	第４回三役会	事務局
１８日	青森ブロック会長来訪	事務局
２０日	２０１４年度通常総会／１５：第２回臨時理事会	学習情報センター
２４日	３月定例会	学習情報センター
２６日	市民運動促進委員会	事務局
２７日	まつり第１回実行委員会	学習情報センター
３０日	第３回らぶごしょ実行委員会	中央公民館
４月		
１日	まつり部会長会議	事務局
２日	基金管理委員会	事務局
４日	市民運動促進委員会	事務局

月 日	行　　事	場　　所
６日	第４回理事会	
７日	第１回会員拡大会議	養老の瀧
８日	県財務事務所来局	
９日	資質向上委員会	事務局
１３日	青少年育成委員会	事務局
１６日	４月定例会	中央公民館
１７日	第３回臨時理事会	４階会議室
２２日	財務管理委員会	事務局
２３日	第２回まつり実行委員会	学習情報センター
２４日	第５回三役会	事務局
２５日	まつり作業始め	
２７日	予算書・決算書セミナー	
	第４回らぶごしょ実行委員会	
２９日	まつり事始祭	神明宮
３０日	財務管理委員会	
５月		
７日	第５回理事会	
１１日	青少年育成委員会	事務局
１５日	異業種ボウリング大会	イズミボウル
１６日	まつり継承委員会	事務局
１７日	５月定例会	中央公民館
２０日	財務管理委員会／まつり部会長会議	事務局
２１日	じょっぱり部会長会議	事務局
２２日	第６回三役会	事務局
２５日	野村證券来局（１５：３０）	
２６日	じょっぱりロード実行委員会	養老の瀧
２７日	まつり第３回実行委員会＆打合せ会	神明宮
２８日	らぶごしょ実行委員会	学習情報センター
２９日	財務管理委員会	事務局
６月		
１日	まつり警備打合せ（１３：３０～）	事務局
３日	市民討議会シミュレーション	
４日	第６回理事会	
８日	まつり参加者会議	中央公民館

月 日	行　　事	場　　所
９日	第４回臨時理事会	事務局
１０日	まつり部会長会議／市民運動促進委員会	
１２日	ＯＢ交流会	まつり製作小屋
１４日	じょっぱりロード第１回ボラ研	学習情報センター
１６日	まつり会員向け説明会	
１８日	河原作業（杉葉とり・河原区割り）	
１９日	まつり前夜祭	
２０日	奥津軽虫と火まつり	
２１日	まつり後片付け	
２３日	三役会／らぶごしょ第５回実行委員会	
２５日	市民討議会第２回シミュレーション	
	じょっぱり部会長会議	
２８日	第２回じょっぱりボラ研	学習情報センター
７月		
１日	市民運動促進委員会	
２日	市民運動促進委員会ファシリ練習	
６日	第７回理事会	
７日	市民運動促進委員会ファシリ練習／木村さん来局	
９日	じょっぱり部会長会議	
１１日	市民討議会	
１２日	第３回じょっぱりボラ研	
１３日	財務管理委員会	
１４日	女子会	粋々
１５日	臨時三役会	中央公民館
１６日	じょっぱり禊・安全祈願祭・実行委員会	
１７日	市民運動促進委員会（１９時～）	事務局
１９日	じょっぱり全体事業説明会	学習情報センター
２１日	第８回三役会	
２２日	７月定例会	学習情報センター
２３日	じょっぱり部会長会議	事務局
２９日	じょっぱりロード１日目／８月定例会	菊ヶ丘公園
８月		
２日	じょっぱり５日目修了式（１６時～）	学習情報センター
５日	臨時三役会	事務局

月 日	行　　事	場　　所
１０日	月次巡回監査（１４：３０）	
１１日	第８回理事会	４階会議室
１８日	第４回臨時理事会	事務局
	理事セミナー	
１９日	青少年育成委員会	事務局
２１日	第９回三役会	事務局
２４日	財務管理委員会	事務局
２５日	理事セミナー	事務局
２６日	会員交流会	中央公民館
２７日	青少年育成委員会	事務局
９月		
２日	第９回理事会	
３日	らぶごしょ第８回実行委員会（１９時～）	学習情報センター
４日	青少年育成委員会（１９時～）	事務局
８日	理事セミナー（１９時～）	事務局
９日	市民運動促進委員会㊙会議	
１０日	月次巡回監査（１３時）／異業種交流会企画会議	
１３日	じょっぱり事業報告会（１３時～）	学習情報センター
１６日	９月通常総会（１８時～ドラフト／１９時～総会）	
１８日	第１０回三役会	
２０日	災害支援ボランティア（大崎市）	
２８日	らぶごしょ実行委員会	
３０日	１６：第１回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
１０月		
２日	市民運動促進委員会（１８時～）	事務局
４日	らぶ・ごしょがわら探検隊	
６日	第１０回理事会	
１３日	まつり第４回実行委員会及び反省会	
１４日	１６：第２回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
１５日	支払日／財務管理委員会／資質向上委員会	
１７日	ゴルフ交流会理事長杯	
１９日	１５：臨時理事会（１９時～）	事務局
	１６：総務委員会（２０時～）	事務局
２１日	月次巡回監査（１３時）／三役会（１９時～）	事務局

月 日	行　　事	場　　所
２２日	１６：第１回予定者三役会（１９時～）	事務局
２５日	１０月定例会	
２９日	１６：第３回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
３０日	わんぱく祝勝会（１９時～）	養老の瀧
１１月		
５日	第１１回理事会（１９時～）	４階会議室
９日	１５：市民運動促進委員会（１９時～）	事務局
１０日	１６：まつり委員会（１９時～）	事務局
１２日	ＳＵＳ委員会（１９時～）	事務局
１３日	財務管理委員会（１９時～）	事務局
１６日	支払日／月次巡回監査（１３時～）	事務局
１７日	１６：第４回予定者理事会	
１８日	１１月定例会（１７時３０分～）	学習情報センター
１９日	異業種交流会会議（１９時～）	事務局
２０日	会員資質向上委員会（１９時～）	事務局
２３日	三役会	
２５日	新入会員セミナー（１９時～）	４階会議室
２７日	委員会セミナー（１９時～）	事務局
３０日	異業種交流会（１９時～）	プラザマリュウ五所川原
１２月		
２日	第５回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
８日	五所川原ＦＭ放送番組審議会（１１時～）	ホテルサンルート五所川原
１０日	第６回予定者理事会／第１２回理事会	４階会議室
１１日	月次巡回監査（１３時～）	事務局
１２日	らぶごしょ決算総会＆忘年会（１９時～）	養老の瀧
１４日	確認検査（９時３０分～１６時）	事務局
１５日	支払日／ブロ長来局（１６時～）	
１７日	忘年理事会（１９時～）	４階会議室
１８日	１６：総務委員会（１７時～）	事務局
２０日	１２月定例会・卒業式／クリスマス家族交流会	プラザマリュウ五所川原
２１日	ＯＢとの顔合わせ	
２２日	１６：まつり委員会（１９時～）	事務局
２５日	１６：総務委員会（１３時～）	事務局
２８日	御用納め／１６：第１回三役会	

新入会員のために（新入会員の心得）

（１） 会員の心得

１．充実したＪＣライフをおくる為に、ＪＣをよく理解しなければならない。
２．常に自分の考えをわかり易く表現することができなければならない。
３．常に若さと活気に溢れ、笑顔を忘れてはならない。
４．会員としての責任感を持ち、積極的に参加しなければならない。
５．進んで難しい仕事に当たり、責任をもって完成させなければならない。
６．議事法ほか会議の進め方をマスターしなければならない。
７．完全な議事録を作成できなければならない。
８．会議の議長を務めることができなければならない。
９．与えられた時間で自分の意見をまとめ、発表できなければならない。

（２） 会員の心構え

１．常に高い目標を持ち、その目標に向かって努力しなければならない。
２．自分自身を知り、向上させなければならない。
３．目的に向かって計画的に自己を管理しなければならない。
４．特に自分自身の健康管理をしなければならない。
５．確固たる信念と強い意志のもとに、目標に向かって直ちに行動を開始すること。
６．一日一度は自分を見直すこと。
７．地域構成員の一人として、地域社会の活動に進んで参加しなければならない。
８．正しいＪＣ運動を地域社会に広めなければならない。

（３） ＪＣ会員としてのマナー

一人ひとりの言動や行動が多くの会員あるいは組織の品位を傷つけることに繋がることから、会員としてのマナーを厳守しなければならない。

１．品格ある青年として行動する。
２．常に礼儀正しい服装をし、必ずバッジをつける。
３．常に他人に対し、不快の念を与える言動を慎む。
４．常に他人の話をよく聞く、その権利を尊重する。
５．諸通知の出欠は、すみやかに必ず返信を出す。なお、出欠の変更又は遅刻の場合は、必ず事前に事務局まで連絡する。
６．諸会合には定刻に出席し、時間の無駄使いをしない。
７．発言する時は、挙手をして上衣のボタンをかけ、所属及び氏名を明確に述べる。
８．諸会合では、私語・雑談を慎む。
９．先輩には敬意を示し、挨拶をすると同時に名刺を交換する。
１０．会員同志の付合いには、相手の人格を損なわないように敬意を示し、笑顔で握手する。